





◎文部科学大臣杯争奪

第35回日整全国少年柔道大会

◎文部科学大臣杯争奪

第16回日整全国少年柔道「形」競技会

◎厚生労働大臣旗争奪

第45回日整全国柔道大会
第7回全国柔道整復師高段者大会

会場：講道館

令和8年 **11/8** 日曜日

午前7時30分開場
午前8時30分開始









ライブ配信決定！

Youtubeにて『日整全国少年柔道大会』と『日整全国少年柔道「形」競技会』の動画を全試合LIVE配信します！
詳細は下記URLをご確認ください。
https://www.shadan-nissei.or.jp/services/judo/

主催 公益社団法人日本柔道整復師会

後援 スポーツ庁　厚生労働省　東京都　公益財団法人講道館
公益財団法人全日本柔道連盟　公益財団法人東京都柔道連盟　産経新聞社

協賛 公益社団法人全国柔道整復学校協会　公益財団法人柔道整復研修試験財団
一般社団法人日本柔道整復接骨医学会　日本柔道整復師協同組合

主管 日本柔道整復師会 関東ブロック会・東京ブロック会

柔道整復師倫理綱領

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民族医学として伝承してきたところであるが、限りない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。

ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

1．柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。

2．日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。

3．相互に尊敬と協力に努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。

4．学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度と誠意を以て接する。

5．業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。

昭和62年６月14日制定



ご 挨 拶

公益社団法人　日本柔道整復師会
会 長　長 尾 淳 彦

このたび、「文部科学大臣杯争奪第35回日整全国少年柔道大会」「第16回日整全国少年柔道『形』競技会」「第7回全国柔道整復師高段者大会」ならびに「第45回日整全国柔道大会」を開催する運びとなりましたことを、心より嬉しく思います。
本大会を主催できますこと、そして全国各地から多くの少年少女、ならびに柔道整復師の皆様をお迎えし、無事に開催の日を迎えられましたことに、深い感謝を申し上げます。

柔道の聖地・講道館に全国から選手が集い、それぞれの目標に向かって日頃の稽古の成果を発揮されることは、誠に意義深いことであります。とりわけ、未来を担う少年少女の皆様にとって、講道館の大道場という特別な舞台で競技に臨む経験は、かけがえのない財産となることでしょう。

柔道は、日本古来の柔術を基に、嘉納治五郎師範によって体系化された、日本を代表する武道です。その根本にある「精力善用」「自他共栄」の精神は、柔道を学ぶ者の心構えとして受け継がれているだけでなく、私たち柔道整復師が大切にする、人を支え、社会に貢献するという理念にも深く通じるものがあります。

本大会を通じて、選手の皆様には、勝敗だけにとらわれることなく、相手を敬い、礼を重んじ、互いに切磋琢磨する柔道の素晴らしさを存分に感じていただきたいと願っております。また、成長期にある小学生が、柔道を生涯にわたって楽しみ、心身ともに健やかに成長していくためには、勝利を目指すことと同時に、柔道の本質や安全に取り組む姿勢を学ぶことが何より大切です。

選手の皆様が日頃の努力の成果を存分に発揮し、競技を楽しみながら、一人ひとりが大きく成長されることを心より期待しております。そのためにも、指導者、保護者をはじめとする関係者の皆様には、選手の成長を温かく見守り、安全を第一に、柔道の魅力と精神を次世代へつないでいくためのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、柔道整復師の代表選手が一堂に会する全国柔道大会、高段者大会においては、日頃の鍛錬の成果を競い合うとともに、世代や地域を越えた交流を深め、柔道を通じた絆をさらに強くする機会となることを願っております。柔道を修行する柔道整復師として、その精神を日々の業務にも生かし、地域社会の健康と安心を支える担い手として、より一層研鑽を重ねていただければ幸いです。

最後になりましたが、本大会の開催にあたり、ご後援を賜りましたスポーツ庁、厚生労働省、東京都、講道館、全日本柔道連盟、東京都柔道連盟、産経新聞社をはじめ、ご協賛を賜りました全国柔道整復学校協会、柔道整復研修試験財団、日本柔道整復接骨医学会、日本柔道整復師協同組合、ならびに大会の企画・運営にご尽力いただきましたすべての関係者の皆様に、心より厚く御礼申し上げます。

本大会が、選手の皆様にとって実り多き大会となり、柔道のさらなる発展と、次代を担う人材の健やかな成長につながることを祈念し、主催者を代表しての挨拶といたします。



祝　　辞

厚生労働大臣　上　野　　賢一郎

本日、第35回日整全国少年柔道大会、第16回日整全国少年柔道「形」競技会、そして第45回日整全国柔道大会が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

本大会に出場される選手の皆様におかれましては、他の選手との交流を通じて、競技生活が豊かなものになることをご期待申し上げるとともに、日頃積み重ねてきた練習の成果を十分に発揮し、輝ける場になることを祈念いたします。

そして、長尾会長をはじめ、本大会を主催する公益社団法人日本柔道整復師会の皆様におかれましては、昭和28年の創立以来、柔道整復の進歩・発展と柔道整復師の資質向上にご尽力され、国民の健康の維持・増進に大きく貢献してこられました。これまでの貴会の皆様のご尽力とご貢献に対し、深く敬意を表します。

さて、我が国の医療・介護を巡る環境は、急速な少子高齢化や医療技術の高度化、医療・介護ニーズの多様化など大きく変化しており、地域医療構想や地域包括ケアシステムを更に推進し、質が高く効率的な地域医療・介護の提供体制を確保することが大きな課題となっております。

このような情勢のなか、柔道整復師には、今後も国民の期待に応じた良質な施術を行うため、さらなる技術の向上に励み、安全で安心な施術を提供していくことが求められています。

柔道整復師の皆様方が、研鑽に努め、これまで以上にその真価を発揮されていくことをご期待申し上げるとともに、日本古来の武道である柔道を通じて、少年少女の健全な心身の育成及び柔道整復の進歩・発展に努められることを祈念しております。

結びになりますが、本大会のご成功と、本日お集まりの皆様方のご健勝、ご活躍を心から祈念して、私の挨拶とさせていただきます。



祝　　辞

文部科学大臣　関　　芳　弘

はじめに、令和８年熊本地震及び豪雨被害等によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。

文部科学大臣杯争奪第35回日整全国少年柔道大会及び第16回日整全国少年柔道「形」競技会が、全国から多数の参加者を得て開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

武道は、心技体を一体として鍛え、人格を磨き、礼節を重んじ、相手を尊重する態度を養うなど、豊かな人間形成に寄与するものであり、世界に誇る我が国固有の文化です。本大会に出場される皆さんが、真摯に柔道に取り組まれていることは、我が国のスポーツ振興や青少年の健全な育成に大きく資するものであり、大変喜ばしく思います。

また、本年は、第20回アジア競技大会・第５回アジアパラ競技大会が愛知県、名古屋市を中心に開催された年でもあります。スポーツを「する」「みる」「ささえる」という多様な形での関わりを通じて、より多くの方々が年齢や障害の有無を超え、互いの違いを尊重し合いながら、スポーツの楽しさや喜びを分かち合う機運が広がっています。

選手の皆さん、会場に立てる喜びとこれまで支えてくれた方々への感謝の気持ちを胸に、日々の稽古の成果を存分に発揮するとともに、全国から集まった仲間たちとの親睦を大いに深めてください。本大会での貴重な経験が、皆さんの今後の人生における大きな財産となることを願っています。

結びに、本大会の開催に御尽力されました公益社団法人日本柔道整復師会をはじめ、大会の関係の皆様方に心から敬意を表しますとともに、本大会の御成功を祈念し、お祝いの言葉といたします。

日整全国少年柔道大会
日整全国少年柔道「形」競技会
日整全国柔道大会
全国柔道整復師高段者大会

次第

1　開会

1　少年柔道大会

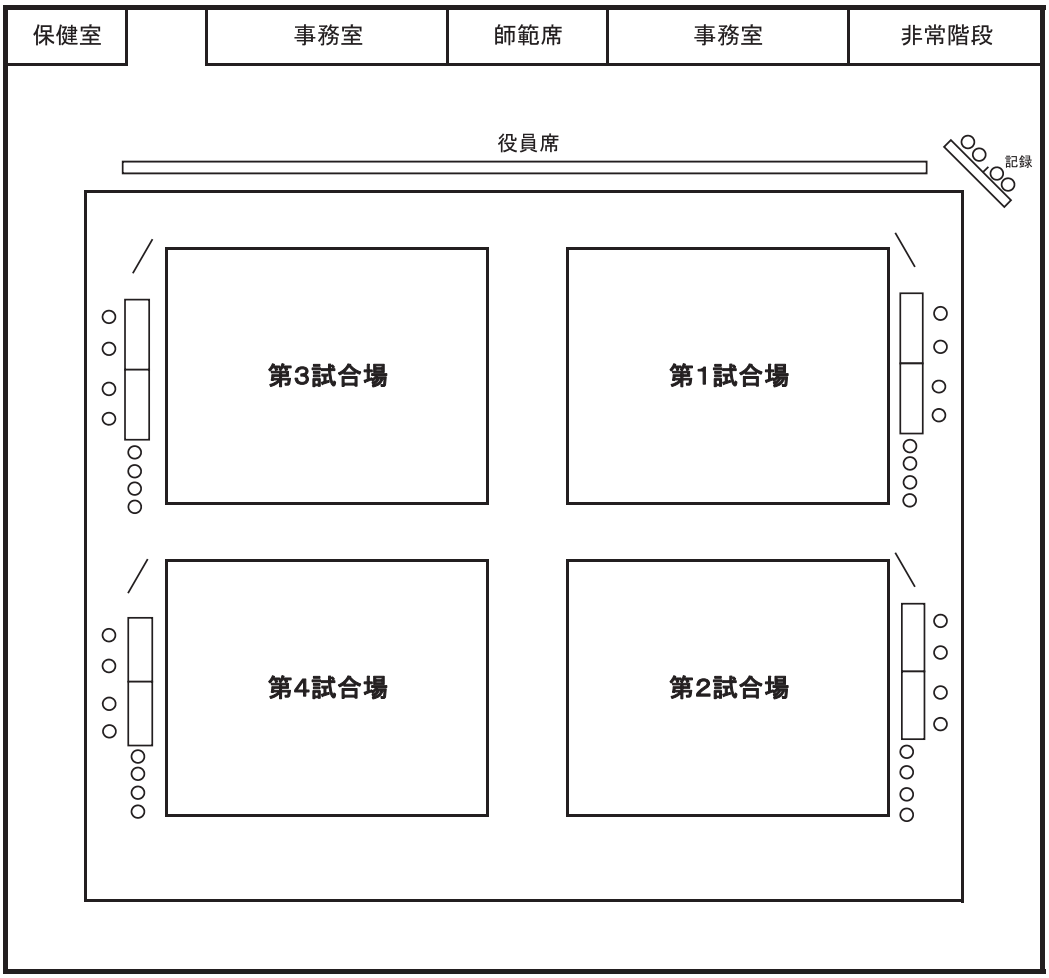
1　高段者大会

1　少年柔道「形」競技会

1　日整全国柔道大会

1　閉会

7階 大道場 会場図



第35回日整全国少年柔道大会
第16回日整全国少年柔道「形」競技会
第45回日整全国柔道大会
第７回全国柔道整復師高段者大会

タイムスケジュール

〔７階 大道場〕

	7:30	開場			
	8:00	審判・監督会議（少年柔道）			
	8:30	開会（準備が整い次第）			
【柔道１回戦】	9:00	1-1	2-1	3-1	4-1
	9:15	1-2	2-2	3-2	4-2
	9:30	1-3	2-3	3-3	4-3
	9:45	1-4	2-4	3-4	4-4
	10:00	予備			
【柔道２回戦】	10:10	1-5	2-5	3-5	4-5
	10:00	全国柔道整復師高段者大会　5階道場 10:00～12:00			
	10:25	1-6	2-6	3-6	4-6
	10:40	1-7	2-7	3-7	4-7
	10:55	1-8	2-8	3-8	4-8
	11:10	予備			
【柔道３回戦】	11:20	1-9	2-9	3-9	4-9
	11:35	1-10	2-10	3-10	4-10
	11:50	予備			
【柔道準々決勝】	12:00	1-11	2-11	3-11	4-11
	12:15	予備			
【柔道準決勝】	12:25	1-12		3-12	
	12:40	予備			
【柔道決勝】	12:50	1-13			

	13:20	監督会議（少年形）
	13:30	日整全国柔道大会　5階道場 13:30～15:40
【形予選】	13:30	１チーム目
	13:36	２チーム目
	13:42	３チーム目
	13:48	４チーム目
	13:54	５チーム目
	14:00	６チーム目
	14:06	７チーム目
	14:12	８チーム目
	14:18	９チーム目
	14:24	10チーム目
	14:30	11チーム目
	14:36	12チーム目
	14:42	清掃（集計）
【形決勝】	15:00	１チーム目
	15:06	２チーム目
	15:12	３チーム目
	15:18	４チーム目
	15:24	５チーム目
	15:30	６チーム目
	15:36	７チーム目
	15:42	８チーム目
	15:48	清掃（集計）
	16:00	閉会・表彰（～16:30）
※進行状況によりスケジュールが前後する場合もあります。		

大　会　役　員

（敬称略・順不同）

大会名誉会長	上　村　春　樹	中　村　真　一	
大　会　顧　問	中　里　壮　也	岩　渕　公　一	池　　誠二郎
	谷　口　和　彦	市　毛　繁　実	工　藤　鉄　男
	松　岡　　保	伊　藤　述　史	
大会相談役	山　口　綱　孝	萩　原　正　和	森　川　伸　治
大　会　会　長	長　尾　淳　彦		
大会副会長	竹　藤　敏　夫	山　﨑　邦　生	
大　会　参　与	川　口　貴　弘	齋　藤　武　久	藤　川　和　秀
	徳　山　健　司	櫻　田　　裕	塩　川　哲　也
	大河原　　晃	橋　口　　均	上　田　　篤
	細　谷　吉　隆	金　子　益　美	鈴　木　　努
	瀧　澤　一　裕	高　山　訓　正	佐　藤　公　司
	宮　下　治　由		

大韓民国柔道連盟杯

日本柔道整復師会は、大韓武道学会などで毎年発表し、柔道整復術並びに柔道を通じて友好関係を構築してきました。 その友好の証として大韓民国柔道連盟会長 金正幸龍仁大学総長より日整全国少年柔道大会と日整全国柔道大会に対して大韓民国柔道連盟杯を平成11年に寄贈していただきました。

モンゴル国友好杯

日本柔道整復師会は、外務省の日本NGO支援無償資金協力「日本伝統治療（柔道整復術）普及事業」において、モンゴル国での医師卒後研修による人材育成に協力しておりますが、その協力の証としてモンゴル国より日整全国少年柔道大会と日整全国柔道大会にモンゴル国友好杯を寄贈していただきました。

大　会　参　与

（敬称略・順不同）

章徳治明周久勉平照隆嗣之男幸良司幸樹秀誠司司隆介史輔夫喜徹二夫郎茂治男一信明道二郎博隆眞生治明二人
昌相善高立順　八芳　憲康澄昌尚健弘正義　裕　法健武泰敏春　裕哲平山栄鉄洋和博弘敬恵　昌　開清博真正
田野田下松本田矢本原谷崎原本藤崎藤岡本原本橋邉川下本　木崎宮松川保田東田藤崎野永田柳本内須　田場吉
岸平黒森小塚上大岩萩菱塚藤山近山加長藤石松高河大日宮堀茂山西重小久村安清加江平富太小杉山奈内園長國

優彦孝二清盛秋治寿二明太太根彦宏三治康康弘郎人晴司邦郎郎一幸司信司一史弘登伸平仁弥朝夫和利等夫弘彦治則
合　剛典浩　西通勇一康雅　好俊修松喜久　吉益宣善喜代英拓道好佳敏利裕敏啓英　博公和欽正靖寛明　庸明智晋徹
河二ツ西窪嶋佐八岩上白下榎田柳夫大竹松石伊篠中尾杉鹿大橋片中杉前林中梶米前伊寺布川金長橋牛池今玉車
谷川田田谷々木本澤杉井田山村本中合田馬石内田川藤田藤江野橋本田江尾田　村谷田羽藤本施口光川本島本村山野
彦一生樹郎男巧二弘一朗一見吾美利治美重夫樹彦寛二昇和三子和豊一人廣好宏胤尚秀公智夫明修治厚久男司二雄満
彰浩道秀満三高裕隆吉次健義彰勝治正正政一秀易剛啓　秀宗くみ修　宏義　喜宣雅廣寿　　富久　良　素隆　栄光
崎木　田谷田川澤本野田木留本崎川出室村山邊邊井都本地本内本　本村宮村山内内川村山下木林山下森下場田崎田
杉高英和苅江小田宮牧室鈴徳梅松齋井大西向渡渡藤宇橋下松牧樽原蓮西高野丸池竹市北丸岩柏小村宮大木稲井高森
博聖司二久康孝譲一謙一勉明磨徳也夫正悦典一博彦章之夫明建肇治二夫昭昭彦進清祐男彦裕重之司夫夫民夫作久雄
紀忠直良浩晴重　謙　金　秀　清卓和長鋼勝敏良和善廣志農義　洋祥富重忠一　研和光　和義尚文則一政啓和光
林　野島池田田藤崎見潟藤部原川村澤本坂川藤川藤谷川内守原川井井岡代村藤水川村澤田本田野野田屋原辺橋畑本村
近　保小鶴室工宮鷲三佐阿藤及木芦櫻大荒齊石内藁市池箱江市宇倉片田中大清藤田原磯山笹荻荻町土笠渡髙池岡木
久

（帰一精錬賞受賞者・帰一功労賞受賞者・代議員）

第35回日整全国少年柔道大会
第16回日整全国少年柔道「形」競技会
第45回日整全国柔道大会
第７回全国柔道整復師高段者大会

審　判　員　名　簿

（敬称略・順不同）

審判長　鮫　島　元　成　　審判部　岩　澤　勇　治

氏　名	出場地区	氏　名	出場地区
中　澤　伸　一	北　海　道	新　井　博　海	埼　玉　県
小　松　　光	東　　北	藤　崎　　満	千　葉　県
清　水　泰　平	関　　東	車　　耕　一	神　奈　川　県
紺　野　直　能	東　　京	渡　辺　直　也	山　梨　県
内　山　貴　之	北　信　越	木目沢　哲　哉	東　京　都
田　端　隆　宣	東　　海	寶　田　　健	東　京　都
車　野　徹　則	大　　阪	道　場　良　久	講　道　館
坊　　晃	近　　畿	大　島　修　次	講　道　館
牧　野　貴　仁	中　　国	平　野　弘　幸	講　道　館
沖　　秀　和	四　　国	南　保　徳　双	講　道　館
川　口　克　広	九　　州	下　山　陽　邦	講　道　館
佐間田　　仁	茨　城　県	内　海　まゆみ	講　道　館
大　橋　智　洋	栃　木　県	濵　名　三代子	講　道　館
嶋　村　和　彦	群　馬　県	鮫　島　康　太	講　道　館

柔道審判担当表

第１試合場	第２試合場	第３試合場	第４試合場
紺　野　直　能	中　澤　伸　一	小　松　　光	清　水　泰　平
車　野　徹　則	内　山　貴　之	坊　　晃	田　端　隆　宣
沖　　秀　和	牧　野　貴　仁	川　口　克　広	嶋　村　和　彦
佐間田　　仁	大　橋　智　洋	車　　耕　一	新　井　博　海
木目沢　哲　哉	渡　辺　直　也	寶　田　　健	藤　崎　　満
道　場　良　久	平　野　弘　幸	大　島　修　次	南　保　徳　双
鮫　島　康　太	内　海　まゆみ	濵　名　三代子	下　山　陽　邦

形審査担当表

第１試合場	第２試合場	第３試合場	第４試合場
道　場　良　久	大　島　修　次	平　野　弘　幸	南　保　徳　双
濵　名　三代子	鮫　島　康　太	内　海　まゆみ	下　山　陽　邦

柔道試合場担当主任

第１試合場	第２試合場	第３試合場	第４試合場
小　野　博　道	八　巻　優　汰	増　田　　泉	竹　津　正　純

第35回日整全国少年柔道大会
第16回日整全国少年柔道「形」競技会
第45回日整全国柔道大会
第7回全国柔道整復師高段者大会

〈敬称略・順不同〉◎責任者　○主任

大会委員長	櫻田　裕 (宮城県)		
大会副委員長	鈴木　努 (静岡県)		
大会委員	箱守志農夫 (茨城県)	田代　富夫 (栃木県)	原澤　研祐 (群馬県)
	大河原　晃 (埼玉県)	細谷　吉隆 (千葉県)	齋藤　武久 (神奈川県)
	井出　正治 (山梨県)	瀧澤　一裕 (東京都)	
審判長・形審査員長	鮫島　元成		
大会顧問医	市毛　繁実		

優秀選手・フェアプレー賞選考委員

委員長	◎細谷　吉隆 (千葉県)		
委員	箱守志農夫 (茨城県)	田代　富夫 (栃木県)	原澤　研祐 (群馬県)
	井出　正治 (山梨県)		
事業部	◎櫻田　裕 (宮城県)	○鈴木　努 (静岡県)	○荻野　義之 (埼玉県)
	○二ツ谷剛彦 (石川県)	○岩澤　勇治 (静岡県)	
放送係	○有馬　宏昌 (東京都)	松田　卓也 (東京都)	
経理係	◎齋藤　武久 (神奈川県)		
競技部 (式典係、5階試合場係含む)	○篠　弘樹 (東京都)	樽本　修和 (東京都)	山﨑　臣樹 (東京都)
	徳永　正人 (東京都)	篠原　航介 (東京都)	大木　正浩 (東京都)
	蓮本　宏一 (東京都)	篠原　彰 (東京都)	畑　武彦 (東京都)
	小林　弘和 (東京都)	大西　浩二 (東京都)	奥田　貴佳 (東京都)
	福田　翔 (東京有明医療大学)	学生	
第1試合場	○小野　博道 (神奈川県)		
第2試合場	○八巻　優汰 (神奈川県)		
第3試合場	○増田　泉 (埼玉県)		
第4試合場	○竹津　正純 (埼玉県)		
救護係	塩見　幸平 (東京都)	齋藤　幸運 (東京都)	
審判部	◎岩澤　勇治 (静岡県)		
広報部	◎塩川　哲也 (福岡県)		
記録係	○瀧澤　一裕 (東京都)	金内　一 (東京都)	山本　裕加 (東京都)
写真・動画係	◎宇都　啓二 (東京都)	藤井　剛寛 (東京都)	松本　宗三 (東京都)
	松本祐一郎 (東京都)	友枝　郁也 (東京都)	宮下　蔵人 (東京都)
	神田　大輔 (東京都)		
受付係1階	○綿引　徹 (茨城県)		
4階	○池畑　啓作 (千葉県)		
7階	○荻野　義之 (埼玉県)		

文部科学大臣杯争奪
第35回日整全国少年柔道大会実施要項

1.日　　時　令和8年11月8日（日）　午前７時30分開場
午前８時30分開会

2.会　　場　〒112-0003　東京都文京区春日1－16－30　講道館大道場（７階）
電　話　03－3818－4171

3.趣　　旨　柔道を通じて、少年少女の健全なる心身の育成に努めると共に、参加者相互の親睦ならびに柔道整復師に対する理解を深め、柔道の発展に寄与することを目的とする。

4.主　　催　公益社団法人日本柔道整復師会
〒110-0007　東京都台東区上野公園16－9
電　話　03－3821－3511　　ＦＡＸ　03－3822－2475
http://www.shadan-nissei.or.jp/

5.後　　援　スポーツ庁、厚生労働省、東京都、公益財団法人講道館、
公益財団法人全日本柔道連盟、公益財団法人東京都柔道連盟、産経新聞社

6.協　　賛　公益社団法人全国柔道整復学校協会、公益財団法人柔道整復研修試験財団、
一般社団法人日本柔道整復接骨医学会、日本柔道整復師協同組合

7.主　　管　日本柔道整復師会 関東ブロック会・東京ブロック会

8.参加資格　各都道府県より1チーム　ただし、開催地は2チームの計48チーム。
（監督と出場選手は、全日本柔道連盟登録済みであること。）

9.選　手　団　⑴構　　成　監督1名（日整会員に限らない）、選手5名
⑵選手選考方法　自由とする。
⑶選　手　内　容　小学4年生1名
小学5年生2名
小学6年生2名　　計5名
⑷国籍、男女を問わない、学齢適齢であること。該当学年に欠員の場合は下位学年で補う。ただし、3年生以下は参加を認めない。
⑸学年順・軽量から順番に先鋒より配列のこと。同学年内は体重順に配列のこと。
⑹補欠は認めない。
⑺選手変更受付期限は11/5（木）正午までとする。選手変更する場合は、変更受付期限までに、日整あて「変更届」および「承認書」をご提出のこと。
日整メールアドレス　jigyo@shadan-nissei.or.jp
日整FAX　03-3822-2475

10.試　　合　⑴団体トーナメント方式とする。
⑵「国際柔道連盟試合審判規定2025-2028」、「少年大会試合審判規程」による。
⑶勝敗の決定方法は「一本」「技あり」「有効」「僅差」*の4種類とし、それに満たない場合は「引き分け」とする。
＊「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（有効以上）がない、又は同等の場合、「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。 1差であれば「引き分け」とする。
（「指導」数によって勝敗が決する例＝0 対 2）
（「指導」数に差が出ても引き分けになる例＝0 対 1、1 対 2）
⑷本大会では十分な試合場の広さが確保できないため、選手の体が、床・机・椅子・掲示版等に触れた場合は、「待て」をかけるものとする。

⑸試合時間は2分間とする。
⑹同点の場合は、内容によって勝敗を決する。
内容も同じ場合は、任意選手による代表戦（2分間、ゴールデンスコアの方式をとらない）を1回行い必ず勝敗を決する。
⑺本大会では直接「反則負け」となった場合は、その後の一連の試合には出場できない。
⑻試合は３審制で行う。
⑼不測の事態が生じた場合の処置は、審判長に一任する。

11.会　　議　審判員、監督会議は大会当日行う。

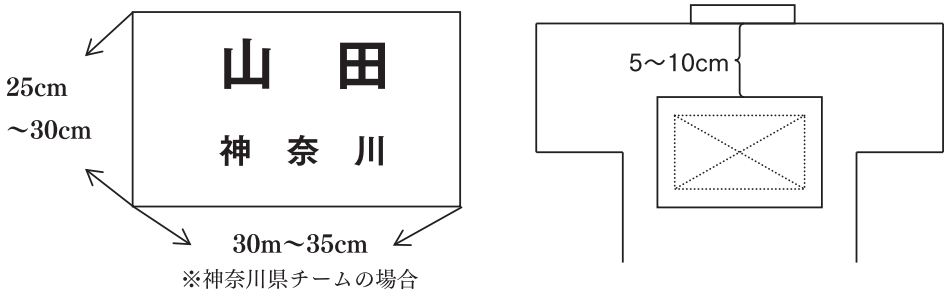
12.表　　彰　⑴優勝チームには文部科学大臣賞状並びに文部科学大臣杯を授与し、前年度優勝チームには文部科学大臣杯レプリカを授与する。
⑵優勝・準優勝・第三位（2チーム）を表彰し、第五位入賞チーム（4チーム）は、敢闘賞を授与する。
⑶優秀選手5名を表彰する。
⑷試合マナーの優良なるチームにフェアプレー賞を授与する。（4チーム）
⑸出場チーム全員に参加賞を授与する。

13.申 し 込 み　⑴申し込みは所定の書類により日本柔道整復師会宛に申し込むこと。
⑵出場申込書には、所属都道府県柔道整復師会会長の承認印を必要とする。
⑶参加選手は、保護者の参加承認書を申し込み時に必ず提出のこと。なお、保護者は参加選手の大会出場にあたり、事前に医師の健康診断を受けさせ、異常（試合の出場に支障）がないことを確認しておくこと。
⑷各チームの集合写真を申し込み時に提出のこと。（17.集合写真 参照）
⑸申し込み締切日は8月末日必着とする。（申込書はエクセルファイル、原本どちらも必要）
※申込書Excelファイルのデータ提出：jigyo@shadan-nissei.or.jp（日本柔道整復師会 事業部宛）

14.交　通　費　選手団の交通費は、各都道府県社団所在地の最寄ＪＲ駅より東京都区内までの往復普通運賃および特急料金を主催者負担とする。ただし、北海道、四国、九州の各県は往復航空料金とする。

15.宿　　泊　宿泊費は各都道府県チームの負担とする。

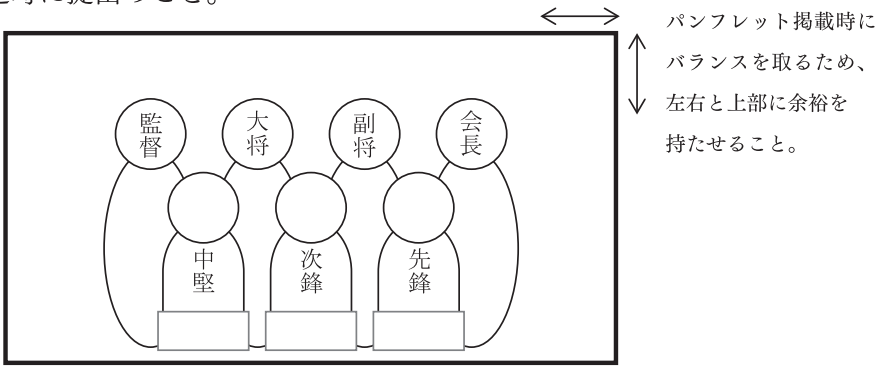
16.柔道衣・ゼッケン　柔道衣の色は無地・白色とする（ラインの入った練習用の柔道衣は不可）。また、出場選手は、必ずゼッケンを縫い付けた柔道衣を着用のこと。



※神奈川県チームの場合

⑴布地は白地（晒・太綾）で書体は太いゴシックまたは明朝体とし、男子は黒字、女子は濃赤字。
⑵サイズは縦25～30 cm、横30～35cm。
⑶苗字（姓）は上側2/3、所属の都道府県名は下側1/3。
⑷縫い付けの場所は後ろ襟から5～10 cm、対角線にも強い糸で縫い付けること。

17.集 合 写 真　申込時に提出のこと。



⑴選手は柔道着を着用。
⑵並びは左から、後列立位：監督、大将、副将、都道府県会長、
前列正座：中堅、次鋒、先鋒 の順。（膝から上を撮影）
⑶3MB以上のJPG データで提出のこと。

18.特 記 事 項　⑴本大会では「試合場におけるコーチの振る舞いについて」および「脳震盪対応について」平成24年4月1日付け全日本柔道連盟通達（別添参照）を適用する。
なお、大会当日、「選手規程に関わる報告書（脳震盪対応について）」を提出のこと。
⑵皮膚真菌症（トンズランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

19.そ の 他　⑴参加者全員の傷害保険は主催者負担とする。
⑵試合当日は健康保険証または資格確認書のコピーを持参すること。
⑶負傷した者は直ちに大会救護係へ報告し、大会顧問医の診察を受け報告書を提出すること。
⑷当日大会で負傷して、やむを得ず病院等に搬送した場合、初診時費用は主催者の日本柔道整復師会負担とする。この報告書の提出なき者は、すべて自己負担とする。大会終了後は受け付けない。
⑸出場者は、所管の教育委員会または在学校長等の承認および許可が必要なところもあるので、遺漏のないようにすること。
⑹審判員および委員係員など当会業務として本大会に招聘された者は、本会規定に基づく役員に準ずる者（本会が役員に準ずる者として招聘した者）としての鉄道賃の額を支給する。

20.個人情報、肖像権の取り扱いについて　参加申込用紙に記載された個人情報は、参加申込用紙の提出により、下記取り扱いについての承諾をしたものとする。
⑴大会中に撮影された写真、動画が大会プログラム、大会ホームページ等に掲載される場合や柔道の普及活動に使用される場合がある。
⑵報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。
⑶提出された個人情報については、上記目的以外に使用しない。

試合場におけるコーチの振る舞いについて

平成24年４月１日
公益財団法人全日本柔道連盟

コーチの役割

１．コーチは、選手への様々な状況における指示、戦術的なアドバイス、怪我の対応など、選手とのコミュニケーションを取ることを目的とする。
２．コーチは、自身の選手が大会会場に入場してから退出するまでの間、選手の行動に責任を持たなければならない。

コーチの場所

１．原則として各試合場の正面と反対側、あるいは試合場の横側に、コーチ１名のみ入ることが許され、用意された椅子に着席しなければならない。
２．伝統的にコーチを認めていない大会（全日本選手権大会など）においては、主催者の判断による。

コーチの言動

１．試合が止まっている間（「待て」から「始め」の間）のみ、選手に対して指示を与えることができる。試合続行中は、選手に対して指示を与えることが許されない。
２．次の行為を禁止する。
(ア)試合が続行している最中に指示を出すこと。また、試合中に立ち上がること。
(イ)審判員の判定に対し、コメントや批判、或いは訂正を要求すること。
(ウ)対戦相手、審判員、役員、一般客、および自分自身の選手を侮辱するような行為
(エ)広告看板や器具に触ったり、殴ったり、蹴ったりすること。
(オ)その他、柔道精神に反する行為
３．原則として、コーチは審判員に準じた服装とし、ID カードを付けるものとする。

罰　則

上記に違反した場合は、下記による処分を科するものとする。
１．１回目は、審判員が合議の上、口頭による注意をする。
２．１回目の注意で改善されない場合は、審判員が大会委員長または審判長に報告の上、大会委員長または審判長の責任のもとにその試合が終了するまで試合場フロアの外へ退去させる。但し、試合はその後も続行するものとする。
3. 次の試合からは、またコーチ席に座ることができるが、その後も改善が見られない場合は、その大会期間を通して試合場フロアへの入場を禁止する場合もある。

脳震盪対応について

ジュニア（20歳未満）以下の大会要項に下記条項に追加する。
選手および指導者は下記事項を遵守すること。
１．大会前１ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け、出場の許可を得ること。
２．大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。)
３．練習再開に関しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
４．当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

第35回日整全国少年柔道大会 出場者一覧

北　海　道



監　督　　傳法谷　雅　紀

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	前　田　大　成	6	152	67	H26.9.30	男
副将	浜　辺　悠　月	6	160	63	H26.8.23	男
中堅	佐々木　漣　翔	5	148	62	H27.8.20	男
次鋒	渋　田　栄　稀	5	145	44	H27.8.31	男
先鋒	髙　橋　　陸	4	137	46	H28.7.18	男

青　森　県



監　督　　工　藤　　渉

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	張　山　叶　安	6	173	93	H26.5.14	男
副将	小　椋　勝　斗	6	162	72	H26.4.2	男
中堅	山　田　宗　孝	5	150	95	H27.9.11	男
次鋒	長　内　瑛　叶	5	151	67	H27.8.1	男
先鋒	斎　藤　　亮	4	148	69	H28.5.12	男

岩　手　県



監　督　　久　松　尚　也

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	青　松　泰　市	6	163	89	H26.6.30	男
副将	田名部　獅　恩	6	150	46	H26.4.16	男
中堅	兼　田　晴　生	5	150	61	H27.5.9	男
次鋒	田名部　凰　雅	5	145	60	H27.7.24	男
先鋒	中　崎　心央成	4	133	33	H28.4.8	男

宮　城　県



監　督　　木　村　孝　哉

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	森　田　　圭	6	152	67	H26.10.26	男
副将	山　口　璃　子	6	152	61	H26.10.16	女
中堅	木　村　清　哉	5	136	34	H28.2.2	男
次鋒	阿　部　　遥	4	143	55	H28.10.20	女
先鋒	千　葉　歩　夢	4	139	50	H28.6.16	男

秋　田　県



監　督　　石　戸　信　吾

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	進　藤　優　豪	6	166	79	H26.5.6	男
副将	佐　藤　羅唯利	6	165	66	H26.5.7	男
中堅	齋　藤　伍　希	5	152	62	H27.7.28	男
次鋒	佐々木　陸　來	5	153	51	H27.5.22	男
先鋒	小　林　大　蓮	4	140	58	H28.6.14	男

山　形　県



監　督　　武　田　吉　和

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	三　宅　壱　清	6	156	70	H26.4.27	男
副将	浅　野　敦　生	6	160	55	H26.5.9	男
中堅	小　野　　麟	5	146	52	H28.1.4	男
次鋒	中　山　大　輔	5	147	48	H27.6.8	男
先鋒	髙　橋　依千華	4	137	35	H28.12.6	女

福　島　県



監　督　　小　松　孝　行

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	齋　藤　惺之介	6	161	82	H26.4.26	男
副将	河　原　湊　翔	6	159	81	H26.7.9	男
中堅	西　内　桜斗弥	5	155	83	H27.5.13	男
次鋒	勝　倉　マシュー	5	158	56	H27.5.14	男
先鋒	市　川　宗次朗	4	151	48	H28.4.11	男

茨　城　県



監　督　　雨　谷　紀　雄

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	国　兼　隼　翔	6	165	88	H26.5.17	男
副将	青　木　泰　獅	6	150	51	H27.1.10	男
中堅	相　沢　咲太朗	5	149	68	H27.5.12	男
次鋒	渡　邉　拓　也	5	147	65	H27.10.14	男
先鋒	吉　川　悠　陽	4	145	55	H28.5.4	男

栃　木　県



監　督　　倉　持　雅　之

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	山　田　茉　桜	6	153	65	H26.4.4	女
副将	鹿　沼　将　龍	6	145	54	H26.5.6	男
中堅	大　森　陽　生	5	160	98	H27.4.22	男
次鋒	中　山　寛　仁	5	153	57	H27.9.2	男
先鋒	井　上　叶　人	4	148	54	H28.5.11	男

群　馬　県



監　督　　渡　辺　良　行

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	戸　塚　思　成	6	165	64	H26.4.28	男
副将	高　野　　瑛	6	140	39	H26.8.3	男
中堅	岡　　慎之助	5	155	47	H27.6.15	男
次鋒	小　倉　碧　紗	5	148	46	H27.7.18	女
先鋒	仲　野　桜　成	4	129	28	H28.4.8	男

埼　玉　県



監　督　　喜　多　憲　一

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	篠　宮　瑠　良	6	152	62	H26.4.20	男
副将	橋　本　翔右馬	6	161	52	H26.6.9	男
中堅	阿　部　仁　恒	5	150	61	H28.2.16	男
次鋒	牛　窪　　蒼	5	141	52	H27.5.29	男
先鋒	氏　家　尚　晃	4	145	42	H28.8.2	男

千　葉　県



監　督　　岡　野　高　義

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	山　田　貫志郎	6	154	75	H26.4.8	男
副将	小　川　裕　生	6	163	63	H26.6.16	男
中堅	野　尻　卓　見	5	143	64	H27.4.7	男
次鋒	濱　本　崇　碩	5	137	40	H27.5.19	男
先鋒	齋　藤　琉之介	4	138	33	H28.5.24	男

神奈川県



監督　矢澤正司

	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	末吉晃希	6	162	90	H27.2.3	男
副将	畑井寛彦	6	147	54	H26.9.12	男
中堅	竹島大智	5	150	66	H28.1.15	男
次鋒	佐野琥生志	5	145	47	H27.10.28	男
先鋒	今田栄太郎	4	145	59	H28.8.1	男

山梨県



監督　芦澤尚秀

	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	村上一心	6	165	72	H26.5.9	男
副将	宮下蒼生	6	143	42	H26.8.10	男
中堅	小林昇	5	143	53	H28.3.5	男
次鋒	内山翔	5	150	43	H27.10.16	男
先鋒	西田翔太	4	135	35	H29.3.23	男

東京都A



監督　南保徳双

	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	冨田莉央	6	153	52	H26.5.21	女
副将	溝橋嵐	6	145	43	H26.4.19	男
中堅	森川恵太郎	5	147	54	H27.12.17	男
次鋒	成田晴太	5	143	38	H27.4.3	男
先鋒	星野晃生	4	138	55	H28.10.16	男

東京都B



監督　早坂佑馬

	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	梅崎光里	6	157	54	H26.8.2	女
副将	花岡弦太	6	143	37	H27.3.2	男
中堅	田畑翔	5	147	52	H27.11.21	男
次鋒	髙室昊希	5	152	47	H27.8.31	男
先鋒	麻生勘太	4	150	63	H28.11.30	男

新潟県



監督　牛木幹人

	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	石舘優馬	6	150	52	H26.11.12	男
副将	馬場にい菜	6	145	40	H27.1.13	女
中堅	山崎蒼介	5	155	79	H27.8.1	男
次鋒	田邊翔理	5	145	37	H28.3.1	男
先鋒	髙林克太郎	4	141	36	H28.11.1	男

長野県



監督　西川陽一

	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	速水來士	6	158	73	H26.4.2	男
副将	熊田陽太	6	155	48	H26.4.24	男
中堅	山岸龍生	5	150	70	H27.8.27	男
次鋒	小林和史	5	145	43	H27.6.1	男
先鋒	宇佐美空輝	4	142	46	H28.11.9	男

富　山　県



監　督　　岡　本　賢　治

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	鹿　野　翔　暉	6	155	63	H26.5.3	男
副将	米　田　凰士郎	6	160	55	H26.5.18	男
中堅	山　本　大　翔	5	153	69	H27.7.4	男
次鋒	金　山　恭　士	5	145	39	H28.1.27	男
先鋒	安　達　凛　凰	4	137	38	H28.6.5	男

石　川　県



監　督　　廣　田　拓　也

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	山　根　明　青	6	154	69	H26.6.24	男
副将	廣　田　菜々花	6	153	50	H26.4.8	女
中堅	嶋　中　環　奈	5	141	46	H27.9.8	女
次鋒	三　井　佑　晟	5	138	38	H27.7.1	男
先鋒	谷　口　晴　翔	4	147	66	H28.4.29	男

福　井　県



監　督　　黒　川　康　信

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	土　井　樹　虎	6	154	62	H26.9.27	男
副将	岩　尾　ほのか	6	160	52	H26.6.17	女
中堅	前　田　成　央	5	159	73	H27.10.9	男
次鋒	松　田　悠　生	5	159	64	H27.10.12	男
先鋒	日野山　裕　太	4	131	37	H28.5.19	男

静　岡　県



監　督　　吉　田　卓　実

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	小　國　煌　士	6	150	57	H26.10.9	男
副将	鈴　木　ひより	6	156	52	H26.4.15	女
中堅	大　西　　龍	5	151	68	H27.6.3	男
次鋒	山　下　丈太郎	5	139	45	H27.9.22	男
先鋒	青　木　煌　來	4	127	40	H29.3.9	男

愛　知　県



監　督　　六　郷　雄　平

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	藤　野　桜　介	6	162	93	H26.4.22	男
副将	大　野　陽　菜	6	155	65	H26.4.30	女
中堅	今　井　雄　都	5	146	59	H27.8.18	男
次鋒	剛　迫　優　翔	5	138	58	H27.7.16	男
先鋒	柳　田　莉　帆	4	126	37	H28.7.18	女

三　重　県



監　督　　川　﨑　洋　平

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	ア　　ロ　ス	6	164	95	H26.4.29	男
副将	竹　田　結　翔	6	157	94	H26.12.7	男
中堅	畑　中　太　惺	5	158	56	H27.4.28	男
次鋒	福　岡　英　太	5	157	46	H27.10.15	男
先鋒	扇　田　弥　杜	4	153	73	H28.6.29	男

岐　阜　県



監　督　　篠　田　善　晴

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	小酒井　千　晴	6	166	63	H26.4.16	男
副将	吉　井　　俊	6	155	51	H26.6.2	男
中堅	山　下　聖　太	5	150	70	H27.5.1	男
次鋒	松　井　剛　輝	5	154	68	H27.8.24	男
先鋒	雑　賀　水　鳳	4	132	35	H28.8.5	女

滋　賀　県



監　督　　真　下　盛　吉

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	米　富　一　翔	6	150	52	H26.11.13	男
副将	加　藤　雄　策	6	157	47	H26.9.20	男
中堅	小　森　滉　雅	5	146	65	H28.1.24	男
次鋒	岡　田　凰　助	5	147	61	H27.4.4	男
先鋒	今　井　　嵩	4	136	34	H28.6.22	男

京　都　府



監　督　　山　本　俊　広

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	内　藤　翔　太	6	155	95	H26.7.5	男
副将	小　林　洸　大	6	150	60	H26.5.23	男
中堅	足　立　琉之佑	5	150	63	H27.10.19	男
次鋒	金　本　才　菜	5	143	40	H27.6.29	女
先鋒	服　田　好　未	4	145	43	H28.6.7	女

奈　良　県



監　督　　坂　田　将　和

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	南　　大　和	6	143	52	H26.11.3	男
副将	小　走　秀　馬	6	158	49	H26.6.11	男
中堅	清　水　恵　人	5	159	69	H27.6.8	男
次鋒	福　田　結　菜	5	166	53	H27.4.3	女
先鋒	西　浦　丈　晴	4	141	46	H28.10.9	男

和 歌 山 県



監　督　　前　田　尚　之

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	半　浴　優　花	6	158	73	H26.4.22	女
副将	岩　﨑　怜　生	6	136	39	H26.12.2	男
中堅	山　下　蓮　叶	5	153	75	H27.6.16	男
次鋒	前　田　壮　馬	5	135	30	H27.10.31	男
先鋒	平　田　豊　侍	4	148	59	H28.8.7	男

兵　庫　県



監　督　　今　里　　満

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	西　ひまわり	6	156	74	H26.6.19	女
副将	福　田　翔　心	6	158	63	H26.8.4	男
中堅	綾　部　遼　斗	5	150	60	H27.7.11	男
次鋒	後　藤　楼　一	5	142	43	H27.8.21	男
先鋒	小　野　輝　都	4	140	32	H28.4.30	男

大　阪　府



監　督　　長谷川　明　利

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	福　田　吟　平	6	153	63	H26.7.4	男
副将	雪　本　　城	6	152	55	H26.10.3	男
中堅	黒　木　陽　太	5	157	67	H27.4.24	男
次鋒	早　田　真　凛	5	148	41	H28.2.12	女
先鋒	水　口　涼　介	4	144	54	H28.4.16	男

岡　山　県



監　督　　中　原　幹　治

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	久　保　諒　真	6	159	79	H26.10.9	男
副将	中　原　幹　太	6	145	50	H26.11.14	男
中堅	原　　健　悟	5	155	67	H27.4.30	男
次鋒	石　田　太　馳	5	154	55	H27.4.11	男
先鋒	山　内　那緒也	4	141	55	H28.7.19	男

鳥　取　県



監　督　　圓　岡　政　春

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	高　塚　叶　和	6	160	74	H26.4.29	男
副将	安　部　壱　斗	6	163	63	H26.5.23	男
中堅	田　川　舞　桜	5	141	52	H28.3.8	女
次鋒	山　﨑　真陽菜	5	143	49	H28.3.10	女
先鋒	香　田　　翼	4	142	55	H28.5.19	男

島　根　県



監　督　　藤　原　侑　祐

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	竹　下　瑛　虹	6	158	97	H26.6.25	男
副将	松　本　　龍	6	160	52	H26.5.5	男
中堅	大　谷　光之介	5	150	72	H27.9.24	男
次鋒	松　本　歩　斗	5	155	49	H27.6.18	男
先鋒	砂　流　史　飛	4	149	62	H28.7.24	男

広　島　県



監　督　　河　野　　誠

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	川　俣　粋　生	6	160	99	H26.6.26	男
副将	村　戸　優　斗	6	156	49	H26.7.14	男
中堅	上　木　　仁	5	153	67	H27.8.3	男
次鋒	村　上　心　音	5	165	53	H27.8.8	女
先鋒	今　谷　天　音	4	151	60	H28.4.4	男

山　口　県



監　督　　若　月　宏　之

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	平　仙　　丈	6	174	77	H26.8.27	男
副将	地頭所　眞　空	6	157	53	H26.4.2	男
中堅	吉　野　雄宇多	5	151	55	H27.7.23	男
次鋒	河　村　洸　里	5	152	53	H27.4.21	女
先鋒	家　永　　樹	4	150	68	H28.10.4	男

香　川　県



監　督　　山　口　大　悟

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	森　本　慈　永	6	170	80	H26.4.23	男
副将	端　山　義　己	6	149	45	H26.5.30	男
中堅	織　田　　勇	5	156	61	H27.4.22	男
次鋒	白　井　壮　樹	5	141	49	H27.12.19	男
先鋒	髙　木　大治朗	4	151	58	H28.11.30	男

愛　媛　県



監　督　　亀　岡　英　仁

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	東　岡　成　美	6	156	52	H26.9.1	女
副将	石　川　　慶	6	153	49	H26.5.9	男
中堅	近　藤　珀　人	5	154	79	H27.7.19	男
次鋒	石　村　洸　人	5	134	32	H27.8.26	男
先鋒	松　岡　利　空	4	151	70	H28.12.5	男

徳　島　県



監　督　　板　東　宏　一

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	武　林　優　汰	6	158	89	H26.4.23	男
副将	井　口　礼　大	6	149	46	H26.11.26	男
中堅	正　村　晃　榮	5	145	68	H27.10.8	男
次鋒	奥　鳴　心　陽	5	150	45	H27.6.9	女
先鋒	日　浦　己　一	4	150	56	H28.8.19	男

高　知　県



監　督　　上　岡　真　大

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	山　下　龍　興	6	169	66	H26.10.1	男
副将	新　谷　虎　夏	6	150	47	H26.8.12	男
中堅	占　部　泰　成	5	148	48	H27.5.5	男
次鋒	池　田　唯　凛	5	131	35	H28.1.5	女
先鋒	片　岡　雄　涼	4	143	76	H28.9.10	男

福　岡　県



監　督　　熊　谷　岳　也

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	正　富　大　也	6	162	72	H26.5.3	男
副将	森　　理　華	6	160	66	H26.6.11	女
中堅	日名子　　糸	5	142	41	H27.7.10	女
次鋒	藤　本　笑　理	5	140	38	H28.1.5	女
先鋒	酒　匂　幹　太	4	142	47	H29.2.6	男

大　分　県



監　督　　森　　一　馬

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	行　武　心　晴	6	158	54	H26.5.22	女
副将	栄　村　向日葵	6	153	45	H26.6.24	女
中堅	河　野　志　煌	5	146	45	H27.5.17	男
次鋒	森　　忠　喜	5	148	47	H27.10.28	男
先鋒	近　藤　颯　真	4	140	39	H28.7.23	男

佐　賀　県



監　督　　西　村　英　樹

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	金　田　祐　虎	6	157	70	H26.4.25	男
副将	近　藤　聖　矢	6	152	52	H26.6.9	男
中堅	井　上　結　陽	5	153	73	H27.7.16	男
次鋒	檜　枝　和五郎	5	158	70	H27.5.10	男
先鋒	檜　枝　幸太郎	4	143	42	H29.1.19	男

長　崎　県



監　督　　島　田　　茂

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	松　本　龍　虎	6	170	73	H26.4.2	男
副将	平　田　櫂　煌	6	160	53	H26.8.30	男
中堅	小　池　のーる	5	150	70	H27.10.1	男
次鋒	安　永　雪之介	5	155	62	H27.9.16	男
先鋒	草　野　喜　信	4	150	45	H28.4.23	男

熊　本　県



監　督　　立　石　勝　也

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	岩　田　大　昌	6	167	96	H26.6.10	男
副将	清　田　翔之助	6	163	70	H26.4.22	男
中堅	松　野　晴　道	5	158	82	H27.6.18	男
次鋒	園　田　龍之介	5	158	48	H27.4.17	男
先鋒	住　川　大　和	4	140	57	H28.11.18	男

宮　崎　県



監　督　　塩　畑　　茜

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	新　地　釉　碧	6	170	120	H26.6.5	男
副将	町　田　暖　汰	6	163	64	H26.5.28	男
中堅	矢　野　壮　真	5	158	62	H27.5.10	男
次鋒	大　束　照　正	5	146	60	H27.11.5	男
先鋒	岩　切　莉　子	4	150	82	H28.12.13	女

鹿 児 島 県



監　督　　中　野　　勝

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	久保田　　悠	6	166	63	H26.4.21	男
副将	吉　永　悠　留	6	160	63	H26.5.7	男
中堅	瀬戸口　乃　愛	5	164	70	H27.11.15	女
次鋒	野　畑　海　頼	5	147	45	H27.4.17	男
先鋒	中　丸　聖　福	4	135	47	H28.12.8	男

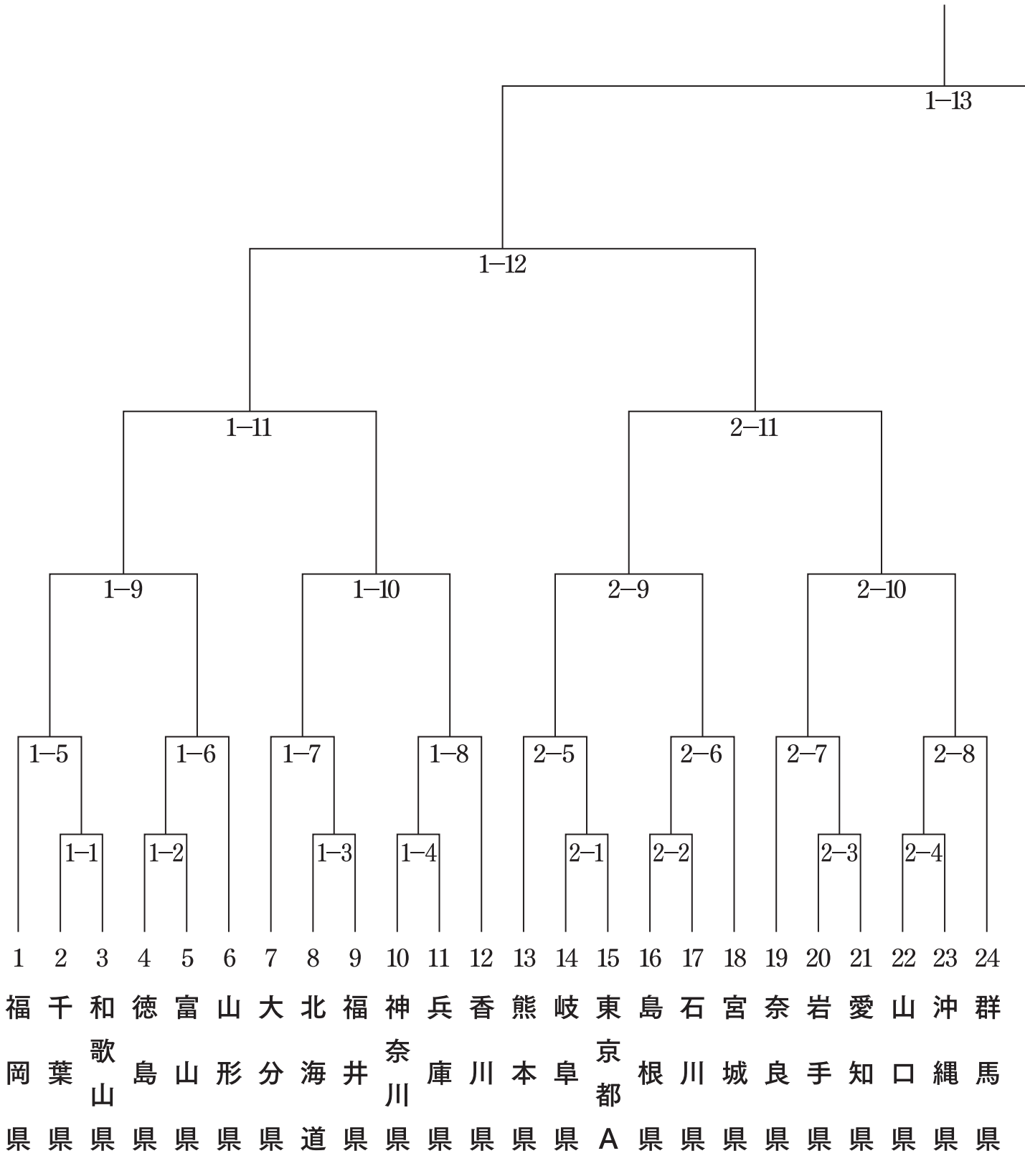
沖　縄　県



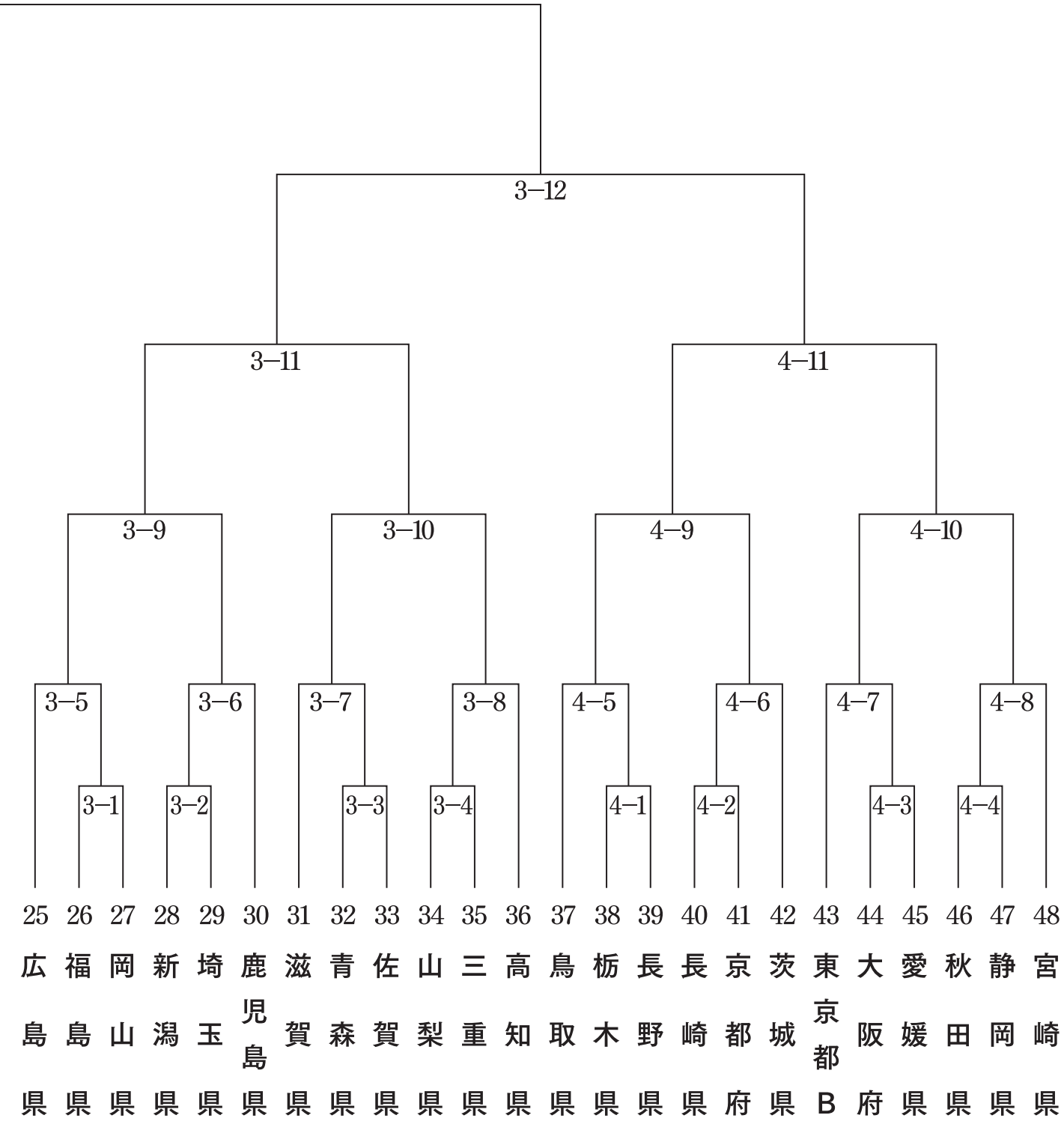
監　督　　伊　禮　　俊

	氏　名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	伊志嶺　朝太郎	6	163	70	H26.4.14	男
副将	玉　城　充　人	6	155	69	H26.9.17	男
中堅	照　屋　怜　世	5	152	67	H27.11.11	男
次鋒	喜屋武　琉　空	5	154	53	H27.9.14	男
先鋒	翁　長　希徳丸	4	140	55	H28.4.15	男

第35回日整全国少年柔道



大会トーナメント表


3–12
3–11
4–11
3–9
3–10
4–9
4–10
3–5
3–6
3–7
3–8
4–5
4–6
4–7
4–8
3–1
3–2
3–3
3–4
4–1
4–2
4–3
4–4
25 広島県
26 福島県
27 岡山県
28 新潟県
29 埼玉県
30 鹿児島県
31 滋賀県
32 青森県
33 佐賀県
34 山梨県
35 三重県
36 高知県
37 鳥取県
38 栃木県
39 長野県
40 長崎県
41 京都府
42 茨城県
43 東京都B
44 大阪府
45 愛媛県
46 秋田県
47 静岡県
48 宮崎県

文部科学大臣杯争奪
第16回日整全国少年柔道「形」競技会実施要項

1.日　　時　令和8年11月8日（日）　午前７時30分開場
午後１時30分競技開始

2.会　　場　〒112-0003　東京都文京区春日1－16－30　講道館大道場（７階）
電　話　03－3818－4171

3.趣　　旨　嘉納治五郎師範は柔道の稽古方法を「形」と「乱取」の二種に分類し、「形」は攻撃防禦に関しあらかじめ種々の場合を定め、理論に基づき身体の動きを規定し、その規定のごとく稽古すると教え、「乱取」とは一定の方法に拠らず、各自、勝手の手段を用いて稽古することである、と教えられた。「投の形」は講道館柔道草創期の時代を背景として制定された古典である。少年少女には、試合優先主義、勝負一辺倒化ではなく、技の理合いの原点を正しく理解、体得させることが極めて重要である。柔道を通じて、少年少女の健全なる心身の育成に努めると共に、参加者相互の親睦並びに、柔道整復師に対する理解を深め、柔道の発展に寄与することを目的とする。

4.主　　催　公益社団法人日本柔道整復師会
〒110-0007　東京都台東区上野公園16－9
電　話　03－3821－3511　　ＦＡＸ　03－3822－2475
http://www.shadan-nissei.or.jp/

5.後　　援　スポーツ庁、厚生労働省、東京都、公益財団法人講道館、
公益財団法人全日本柔道連盟、公益財団法人東京都柔道連盟、産経新聞社

6.協　　賛　公益社団法人全国柔道整復学校協会、公益財団法人柔道整復研修試験財団、
一般社団法人日本柔道整復接骨医学会、日本柔道整復師協同組合

7.参加資格　各都道府県より予選を経て、計47チーム出場。

8.選　手　団　(1)構　　成　　監督１名　（日整会員に限らない）　　選手　２名
(2)選手選考方法　各都道府県で選出する。
(3)選手内容　　小学生(４年生以上)
(4)国籍、男女を問わない、学齢適齢であること。
(5)選手変更受付期限は 11/5(木)正午までとする。選手変更する場合は、変更受付期限までに、日整あて「変更届」および「承認書」をご提出のこと。
日整メールアドレス　jigyo@shadan-nissei.or.jp
日整FAX　03-3822-2475

9.競技種目　投の形(手技・腰技・足技のみ)計９本

10.競技方法　(1)「講道館柔道形競技規定」により行う。
ただし、予選は下記のとおり行う。
①出場チームを A･B･C･D の４ブロックに分ける。
②各ブロック上位２チーム(計８チーム)が決勝進出。
③予選の審査員は各２名。
④予選の得点は決勝に継承しない。
(2)その他、不測の事態が生じた場合の処置は、審査員長に一任する。

11.会　　議　監督会議は大会当日行う。

12.表　　彰　(1) 優勝チームには文部科学大臣杯並びに優勝者には文部科学大臣賞状を授与し、前年度優勝チームには文部科学大臣杯レプリカを授与する。
(2)決勝出場チームを表彰する。

(3)出場チーム全員に参加賞を授与する。
(4)入賞１チーム（原則、優勝チーム）は次年度５月５日開催の全国少年柔道大会において、形を演武する。(選手団の交通費および傷害保険は日整負担とする。)

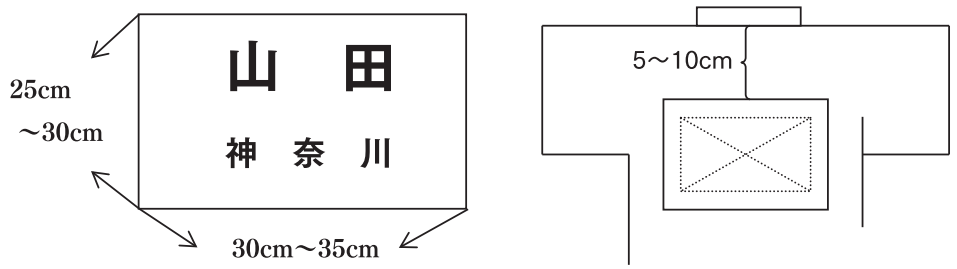
13.審　査　員　審査員は、講道館指導部に依頼する。

14.申 し 込 み
(1)申し込みは所定の書類により日本柔道整復師会宛に申し込むこと。
(2)出場申込書には、所属都道府県柔道整復師会会長の承認印を必要とする。
(3)参加選手は、保護者の参加承認書を申し込み時に必ず提出のこと。なお、保護者は参加選手の大会出場にあたり、事前に医師の健康診断を受けさせ、異常(競技会の出場に支障)がないことを確認しておくこと。
(4)各チームの集合写真を申し込み時に提出のこと。(18. 集合写真 参照)
(5)申し込み締切日は８月末日必着とする。(申込書はエクセルファイル、原本どちらも必要)
※申込書 Excel ファイルのデータ提出：jigyo@shadan-nissei.or.jp（日本柔道整復師会 事業部宛）

15.交　通　費　選手団の交通費は、各都道府県社団所在地の最寄ＪＲ駅より東京都区内までの往復普通運賃および特急料金を主催者負担とする。ただし、北海道、四国、九州の各県は往復航空料金とする。

16.宿　　泊　宿泊費は各都道府県チームの負担とする。

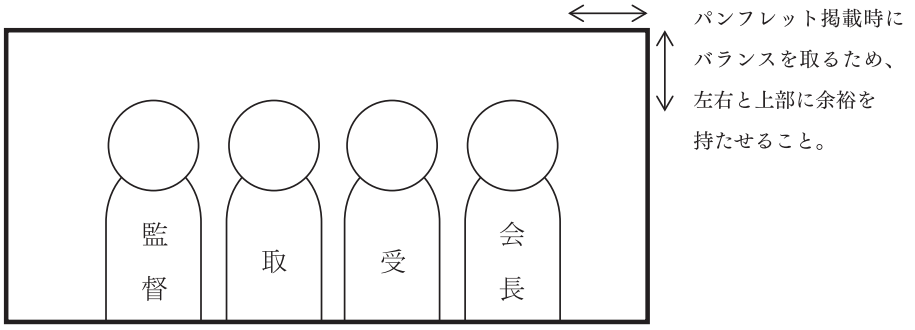
17.ゼ ッ ケ ン　出場選手は、必ずゼッケンを縫い付けた柔道衣を着用のこと。



※神奈川県チームの場合

(1)布地は白地(晒・太綾)で書体は太いゴシックまたは明朝体とし、男子は黒字、女子は濃赤字。
(2)サイズは縦 25 ～ 30 cm、横 30 ～ 35cm。
(3)苗字(姓)は上側 2/3、所属の都道府県名は下側 1/3。
(4)縫い付けの場所は後ろ襟から 5 ～ 10 cm、対角線にも強い糸で縫い付けること。

18.集 合 写 真　申込時に提出のこと。



(1)選手は柔道着を着用。
(2)並びは左から 監督、取、受、出場選手所属の都道府県会長 の順。
(3)立位、胸から上を撮影。
(4)3MB 以上の JPG データで提出のこと。

19.特 記 事 項

(1)本大会では「脳震盪対応について」平成 24 年 4 月 1 日付け全日本柔道連盟通達(別添参照)を適用する。
なお、大会当日、「選手規程に関わる報告書(脳震盪対応について)」を提出のこと。

(2)皮膚真菌症(トンズランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

20.そ の 他

(1)参加者全員の傷害保険は主催者負担とする。

(2)競技会当日は健康保険証または資格確認書のコピーを持参すること。

(3)負傷した者は直ちに大会救護係へ報告し、大会顧問医の診察を受け報告書を提出すること。

(4)当日大会で負傷して、やむを得ず病院等に搬送した場合、初診時費用は主催者の日本柔道整復師会負担とする。この報告書の提出なき者は、すべて自己負担とする。大会終了後は受け付けない。

(5)出場者は、所管の教育委員会または在学校長等の承認および許可が必要なところもあるので、遺漏のないようにすること。

(6)審判員および委員係員など当会業務として本大会に招聘された者は、本会規定に基づく役員に準ずる者（本会が役員に準ずる者として招聘した者）としての鉄道賃の額を支給する。

21.個人情報、肖像権の取り扱いについて

参加申込用紙に記載された個人情報は、参加申込用紙の提出により、下記取り扱いについての承諾をしたものとする。

(1)大会中に撮影された写真、動画が大会プログラム、大会ホームページ等に掲載される場合や柔道の普及活動に使用される場合がある。

(2)報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。

(3)提出された個人情報については、上記目的以外に使用しない。

第16回日整全国少年柔道「形」競技会　競技順

予　選

Aブロック　　第１試合場

順序	チーム	得点
1	島　根　県	
2	福　井　県	
3	岩　手　県	
4	北　海　道	
5	愛　知　県	
6	新　潟　県	
7	栃　木　県	
8	鹿　児　島　県	
9	奈　良　県	
10	山　口　県	
11	岡　山　県	
12	－	

Bブロック　　第２試合場

順序	チーム	得点
1	青　森　県	
2	群　馬　県	
3	静　岡　県	
4	埼　玉　県	
5	和　歌　山　県	
6	高　知　県	
7	広　島　県	
8	徳　島　県	
9	大　阪　府	
10	香　川　県	
11	山　形　県	
12	佐　賀　県	

Cブロック　　第３試合場

順序	チーム	得点
1	宮　崎　県	
2	長　野　県	
3	京　都　府	
4	熊　本　県	
5	大　分　県	
6	山　梨　県	
7	石　川　県	
8	兵　庫　県	
9	三　重　県	
10	千　葉　県	
11	岐　阜　県	
12	福　岡　県	

Dブロック　　第４試合場

順序	チーム	得点
1	沖　縄　県	
2	滋　賀　県	
3	神　奈　川　県	
4	東　京　都	
5	茨　城　県	
6	富　山　県	
7	鳥　取　県	
8	秋　田　県	
9	宮　城　県	
10	長　崎　県	
11	福　島　県	
12	愛　媛　県	

決　勝

第１試合場

順序	チーム	得点
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

第16回日整全国少年柔道「形」競技会 出場者一覧

北 海 道



監 督　工 藤 重 孝

	氏 名	学年	生年月日	性別
取	菅 原 杏	5	H27.8.21	女
受	木 村 昭 斗	5	H27.6.25	男

青 森 県



監 督　豊 嶋 文 武

	氏 名	学年	生年月日	性別
取	小山内 柚 稀	6	H27.2.6	男
受	粕 谷 颯 音	6	H27.1.20	男

岩 手 県



監 督　上 林 将 太

	氏 名	学年	生年月日	性別
取	田 代 真和士	6	H27.1.16	男
受	上 林 日梛子	6	H26.5.1	女

宮 城 県



監 督　阿 部 義 弘

	氏 名	学年	生年月日	性別
取	畠 山 琉 己	6	H26.11.25	男
受	阿 部 龍 穏	6	H26.5.10	男

秋 田 県



監 督　今 立 孜

	氏 名	学年	生年月日	性別
取	田 村 萌々香	6	H26.4.17	女
受	金 谷 岳	6	H27.2.9	男

山 形 県



監 督　伊 藤 康 平

	氏 名	学年	生年月日	性別
取	浅 野 敦 生	6	H26.5.9	男
受	小 松 剛 士	5	H28.2.27	男

福 島 県



監 督　佐 藤 昭 彦

	氏 名	学年	生年月日	性別
取	佐 藤 瑛 心	5	H28.1.26	男
受	大和田 健 人	6	H26.10.6	男

茨 城 県



監 督　森 田 桂 一

	氏 名	学年	生年月日	性別
取	篠 﨑 莉々奈	6	H26.12.3	女
受	中 田 千 代	6	H27.2.20	女

栃　木　県



監　督　　塚　原　正　信

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	山　口　琉　花	5	H27.12.8	女
受	川　島　羽　菜	5	H27.7.11	女

群　馬　県



監　督　　藤　川　　進

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	連　　湊　音	6	H26.4.13	女
受	桑　原　征之介	6	H26.6.3	男

埼　玉　県



監　督　　古　澤　聖　人

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	舟　木　嘉　人	6	H26.11.7	男
受	木　村　　鈴	6	H26.6.26	女

千　葉　県



監　督　　成　瀬　当　正

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	亀　屋　俊　吾	6	H26.9.18	男
受	阿　部　蒼　大	6	H26.5.23	男

神奈川県



監　督　　室　田　次　朗

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	中　口　清　玄	6	H26.8.24	男
受	室　田　廉　翔	6	H26.8.26	男

山　梨　県



監　督　　鈴　木　　葵

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	鈴　木　綾　乃	5	H27.12.31	女
受	鈴　木　心　乃	5	H27.12.31	女

東　京　都



監　督　　桐　生　習　作

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	山　本　　芹	6	H26.12.9	女
受	森　田　み　ち	6	H27.1.9	女

新　潟　県



監　督　　丸　山　貴　裕

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	丸　山　菜　子	5	H28.1.20	女
受	矢　野　美　月	5	H27.7.17	女

長　野　県



監　督　　中　澤　真　樹

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	小　林　歩　己	5	H28.1.23	男
受	小　林　帆　高	6	H26.5.5	男

富　山　県



監　督　　鷹　取　祐　司

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	上　谷　鷲次郎	5	H27.8.17	男
受	岩　河　慶　汰	6	H27.3.21	男

石　川　県



監　督　　坂　田　和　也

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	丸　山　莉　歩	6	H26.9.13	女
受	中　島　慶　人	6	H27.1.31	男

福　井　県



監　督　　野　川　浩　毅

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	野　川　史　乃	6	H27.3.20	女
受	古　崎　峯　桜	6	H26.8.3	男

静　岡　県



監　督　　一　瀬　克　紘

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	宮　﨑　敬　大	6	H27.3.19	男
受	髙　村　隆二郎	6	H27.3.22	男

愛　知　県



監　督　　作　田　新之助

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	戸　松　戒　斗	6	H26.6.29	男
受	中　嶋　彩央里	6	H26.11.12	女

三　重　県



監　督　　山　出　教　成

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	濵　本　小乃羽	5	H28.3.19	女
受	田　岡　幹　生	6	H27.1.19	男

岐　阜　県



監　督　　纐　纈　和　輝

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	長　房　　歩	6	H27.3.23	男
受	大　前　拓　也	4	H28.10.21	男

滋　賀　県



監　督　　山　﨑　哲　弘

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	古　川　英　奈	5	H27.6.27	女
受	山　﨑　咲　空	6	H26.5.20	女

京　都　府



監　督　　竹　村　尚　記

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	久々江　紗梨依	6	H26.11.4	女
受	髙　槻　結　仁	6	H27.1.1	男

奈　良　県



監　督　　石　津　佳　和

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	紙　屋　清　子	6	H26.12.23	女
受	藤　堂　　暁	6	H27.1.31	男

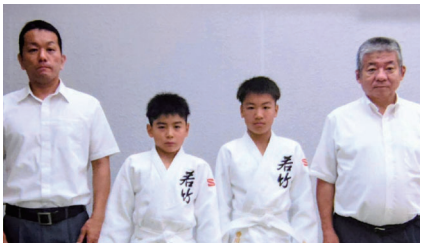
和　歌　山　県



監　督　　尾　﨑　行　雄

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	竹　内　悠　真	5	H27.7.28	男
受	出　水　康　正	5	H27.12.17	男

兵　庫　県



監　督　　巖　　俊　樹

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	高　野　愛　凰	6	H26.5.7	男
受	香　川　遥　希	6	H26.9.21	男

大　阪　府



監　督　　田　中　嘉　朗

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	栗　元　莉々子	5	H27.5.27	男
受	柳　川　昊　来	4	H28.7.27	男

岡　山　県



監　督　　遠　藤　珠　央

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	石　島　美　和	6	H26.7.8	女
受	西　川　奈　々	6	H26.11.20	女

鳥　取　県



監　督　　林　　達　雄

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	朝　倉　由　衣	5	H27.4.13	女
受	千　葉　　優	5	H27.12.7	女

島　根　県



監　督　　足　立　　聡

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	藤　原　海　翔	5	H27.8.6	男
受	安　部　陽　向	5	H27.12.12	男

広　島　県



監　督　　中　村　和　裕

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	新　川　大　輔	6	H26.8.17	男
受	中　村　清　人	6	H26.9.28	男

山　口　県



監　督　　三　浦　裕　貴

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	義　永　慎之助	6	H26.12.8	男
受	渡　辺　湊　斗	6	H27.1.29	男

香　川　県



監　督　　北　野　次　高

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	藤　間　丈　瑠	6	H26.8.5	男
受	北　野　快　英	6	H27.3.22	男

愛　媛　県



監　督　　大　川　健　介

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	早　坂　彩　芭	6	H26.5.4	女
受	谷　口　愛　海	6	H26.7.3	女

徳　島　県



監　督　　三　河　良　輔

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	三　河　正　宗	5	H28.2.10	男
受	中阿地　暁　翔	5	H27.12.1	男

高　知　県



監　督　　吉　本　大　輔

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	新　谷　虎　大	5	H27.10.23	男
受	新　谷　虎　夏	6	H26.8.12	男

福　岡　県



監　督　　白　木　雅　巳

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	小　川　花　道	6	H26.6.6	男
受	小　島　廉　大	6	H27.1.14	男

大　分　県



監　督　　重　石　雄　大

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	伯々上　愛　羽	4	H28.4.27	女
受	伯々上　愛　絆	6	H26.9.19	女

佐　賀　県



監　督　　大　島　隆　二

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	橋　間　　新	6	H26.4.28	男
受	大　島　敦　洋	5	H27.5.23	男

長　崎　県



監　督　　辻　原　良　記

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	平　井　陽　鞠	6	H26.6.4	女
受	米　倉　穂乃果	6	H26.11.27	女

熊　本　県



監　督　　境　　憲　泰

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	志　水　愛　彩	6	H26.5.8	女
受	森　　勇　斗	6	H26.5.9	男

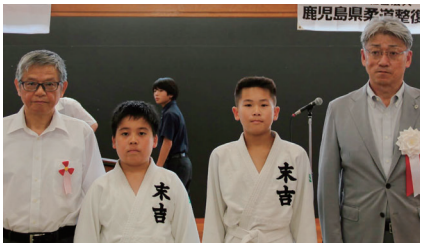
宮　崎　県



監　督　　見　原　道　生

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	今屋敷　創士郎	6	H27.3.12	男
受	染　矢　諒　太	5	H27.4.29	男

鹿児島県



監　督　　鮫　島　芳　美

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	三　枝　汰　志	6	H27.1.2	男
受	和　田　龍　心	6	H26.7.29	男

沖　縄　県



監　督　　岸　良　綾　乃

	氏　　名	学年	生年月日	性別
取	屋　良　一　颯	5	H27.7.17	男
受	知　花　心優姫	5	H28.2.2	女

厚生労働大臣旗争奪
第45回日整全国柔道大会実施要項

1.日　　時　令和8年11月8日（日）　　午後１時30分開会

2.会　　場　〒112-0003　東京都文京区春日1－16－30　講道館 5階道場
電　話　03－3818－4171

3.趣　　旨　柔道整復師の人格の陶冶と資質の向上をはかり、国民医療の発展に尽くし、併せて地域柔道の普及発展と国民の体育増進に寄与することを目的とする。

4.主　　催　公益社団法人日本柔道整復師会
〒110-0007　東京都台東区上野公園16－9
電　話　03－3821－3511　　ＦＡＸ　03－3822－2475
http://www.shadan-nissei.or.jp/

5.後　　援　厚生労働省、東京都、公益財団法人講道館、公益財団法人全日本柔道連盟、公益財団法人東京都柔道連盟、産経新聞社

6.協　　賛　公益社団法人全国柔道整復学校協会、公益財団法人柔道整復研修試験財団、一般社団法人日本柔道整復接骨医学会、日本柔道整復師協同組合

7.主　　管　日本柔道整復師会 関東ブロック会・東京ブロック会

8.参加資格　⑴その年の大会申込期限までに日整会員であること。
⑵監督と出場選手は、全日本柔道連盟登録済みであること。
⑶11地区（北海道、東北、関東、東京、北信越、東海、近畿、大阪、中国、四国、九州）より、選出された参段以上の選手であること。ただし、30代以下の段位はその限りではない。

9.選 手 団　⑴構　　成　監督　1名　　選手　3名
⑵選手選考方法　上記11地区より選出（各地区一任）
⑶選 手 内 容　大将50歳代　中堅40歳代　先鋒30代以下
⑷選手年齢は試合当日の満年齢をもって決める。
⑸配列は生年月日順とするが、同一の場合は軽量より配列のこと。
当該年代の選手には上位年代の選手を当てることができる。
⑹補欠は認めない。
⑺選手変更受付期限は11/5（木）正午までとする。選手変更する場合は、変更受付期限までに、日整あて「変更届」をご提出のこと。
日整メールアドレス　jigyo@shadan-nissei.or.jp
日整FAX　03-3822-2475

10.試　　合　⑴団体トーナメント方式とする。
⑵「国際柔道連盟試合審判規定 2025-2028」による。
⑶勝敗の決定方法は「一本」「技あり」「有効」「僅差」*の4種類とし、それに満たない場合は「引き分け」とする。
＊「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（有効以上）がない、又は同等の場合、「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。 1差であれば「引き分け」とする。
（「指導」数によって勝敗が決する例＝0 対 2）
（「指導」数に差が出ても引き分けになる例＝0 対 1、1 対 2）
⑷本大会は体格差・年齢差を考慮し、以下の特別ルールを追加適用する。
「立ち姿勢において、相手と組んだ状態で攻撃・防御のために、相手の帯から下を掴む（触れる）ことは反則（指導）とはしない。但し、相手と組んでいない状況で直接相手の帯から下へ攻撃を行うことは反則（指導）とする」

(5)試合時間は3分間とする。
(6)同点の場合は、内容によって勝敗を決する。
内容も同じ場合は、任意選手による代表戦（3分間、ゴールデンスコアの方式をとらない）を1回行い必ず勝敗を決する。
(7)本大会では十分な試合場の広さが確保できないため、選手の体が、床・机・椅子・掲示版等に触れた場合は、「待て」をかけるものとする。
(8)試合は、３審制で行う。
(9)試合は5階道場にて行う。
⑽不測の事態が生じた場合の処置は、大会本部に一任する。

11.会　　議　審判員、監督会議は大会当日行う。

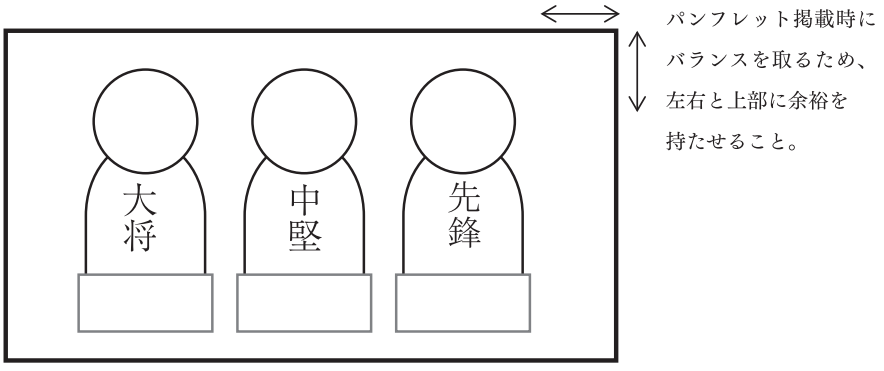
12.表　　彰　⑴優勝・準優勝・第三位（2チーム）を表彰する。
⑵日整全国柔道大会功労表彰（日整全国柔道大会、日整全国少年柔道大会、日整全国少年柔道「形」競技会に、審判、監督、選手または形演武者として、通算5回出場した会員）
⑶日整全国柔道大会特別功労表彰（日整全国柔道大会に、選手として、通算10回、15回、20回（以後、5回ごと）出場した者）
⑷（2）及び（3）に係る出場通算基準は、前回大会までとする。

13.申し込み　⑴申し込み締切日は8月末日必着とする。（申込書はエクセルファイル、原本どちらも必要）
※申込書Excelファイルのデータ提出：jigyo@shadan-nissei.or.jp（日本柔道整復師会 事業部宛）
⑵参加選手は医師の健康証明書を申し込み時に必ず提出のこと。
⑶申し込み締切日は8月末日必着とする。

14.交通費　選手団の交通費は、各都道府県社団所在地の最寄ＪＲ駅より東京都区内までの往復普通運賃および特急料金を主催者負担とする。ただし、北海道、四国、九州の各県は往復航空料金とする。

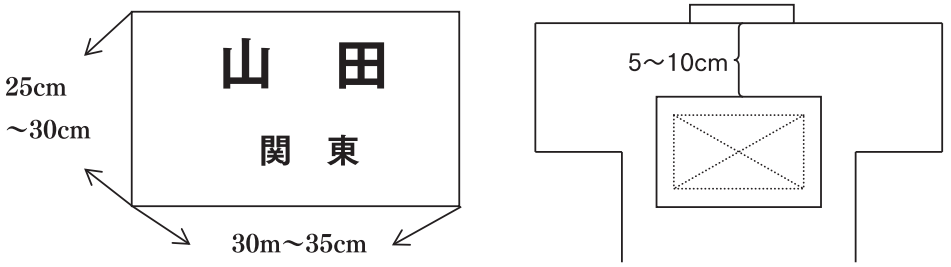
15.宿　　泊　宿泊費は各地区の負担とする。

16.集合写真　申込時に提出のこと。



⑴選手は柔道着を着用。
⑵並びは左から、大将、中堅、先鋒 の順。（膝から上を撮影）
⑶3MB以上のJPG データで提出のこと。

17.ゼッケン　出場選手は、必ずゼッケンを縫い付けた柔道衣を着用のこと。



※関東チームの場合

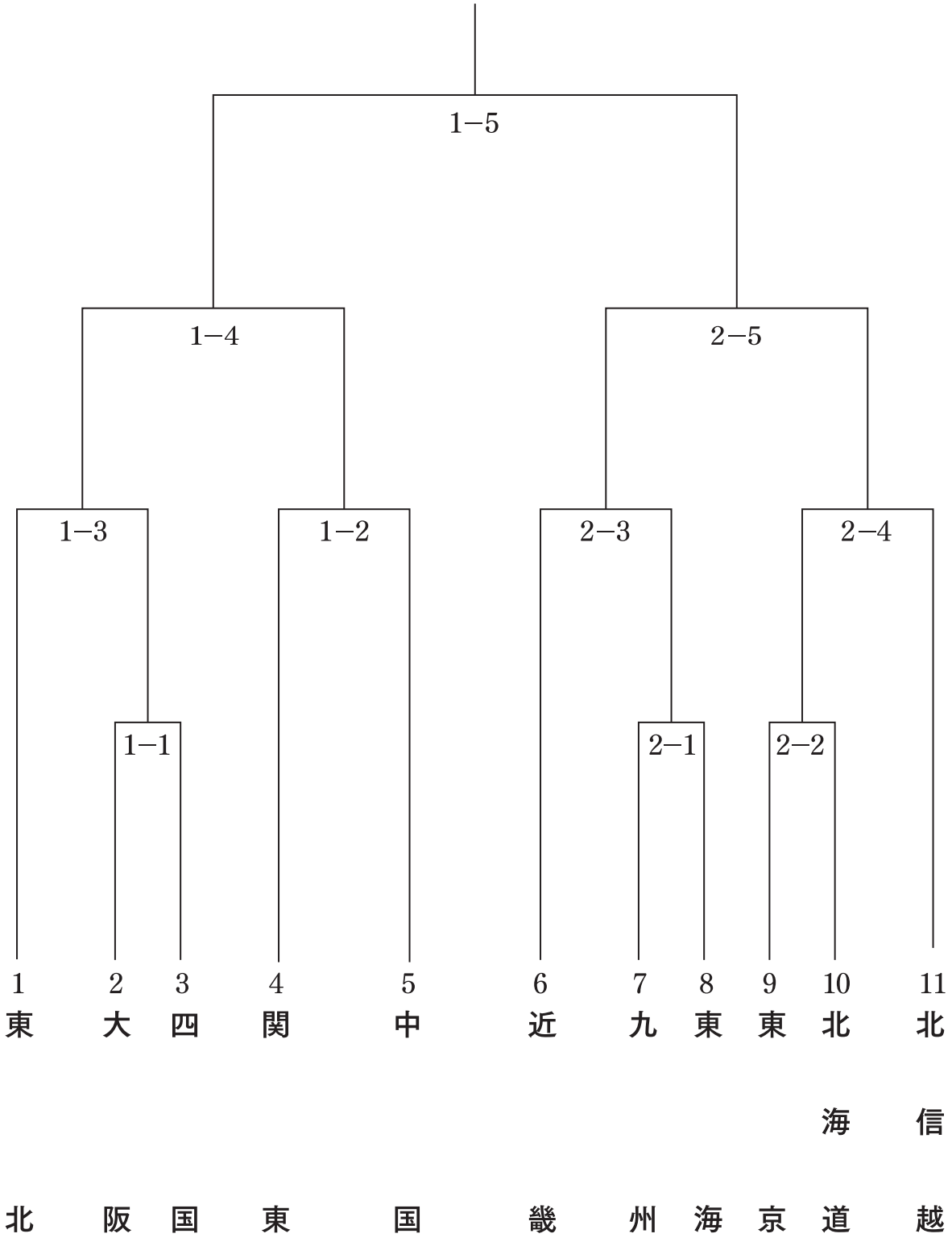
⑴布地は白地(晒･太綾)で書体は太いゴシックまたは明朝体とし、男子は黒字、女子は濃赤字。
⑵サイズは縦25～30 cm、横30～35cm。
⑶苗字（姓）は上側2/3、所属の柔道ブロック名は下側1/3。
⑷縫い付けの場所は後ろ襟から5～10 cm、対角線にも強い糸で縫い付けること。

18.特記事項　皮膚真菌症（トンズランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

19.そ　の　他
⑴参加者全員の傷害保険は主催者負担とする。
⑵試合当日は健康保険証または資格確認書のコピーを持参すること。
⑶負傷した者は直ちに大会救護係へ報告し、大会顧問医の診察を受け報告書を提出すること。
⑷当日大会で負傷して、やむを得ず病院等に搬送した場合、初診時費用は主催者の日本柔道整復師会負担とする。この報告書の提出なき者は、すべて自己負担とする。大会終了後は受け付けない。
⑸審判員および委員係員など当会業務として本大会に招聘された者は、本会規定に基づく役員に準ずる者（本会が役員に準ずる者として招聘した者）としての鉄道賃の額を支給する。

20.個人情報、肖像権の取り扱いについて　参加申込用紙に記載された個人情報は、参加申込用紙の提出により、下記取り扱いについての承諾をしたものとする。
⑴大会中に撮影された写真、動画が大会プログラム、大会ホームページ等に掲載される場合がある。
⑵報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。
⑶提出された個人情報については、上記目的以外に使用しない。

第45回日整全国柔道大会（会員大会）トーナメント表



第45回日整全国柔道大会 出場者一覧

北海道



監　督　　7段　　鷲　見　謙　一

	段位	氏　名	身長	体重	年令
大将	5段	大　竹　正　亮	168	86	51才
中堅	5段	室　田　多　哉	180	77	43才
先鋒	4段	中　澤　佑　紀	160	75	26才

東　北



監　督　　5段　　小　松　孝　行

	段位	氏　名	身長	体重	年令
大将	4段	櫻　本　和　夫	176	81	51才
中堅	6段	鈴　木　孝　行	171	93	48才
先鋒	4段	松　田　幸　泰	177	140	42才

関　東



監　督　　5段　　小　椋　国　吉

	段位	氏　名	身長	体重	年令
大将	5段	吉　澤　賢　二	174	81	54才
中堅	5段	倉　井　康　雄	177	88	44才
先鋒	5段	刈　屋　　遵	177	88	43才

東　京



監　督　　6段　　針　谷　泰　介

	段位	氏　名	身長	体重	年令
大将	5段	津久井　佑　隆	173	75	54才
中堅	5段	和　田　雅　史	180	95	41才
先鋒	4段	池　田　　希	183	100	27才

北信越



監　督　　5段　　西　川　典　孝

	段位	氏　名	身長	体重	年令
大将	6段	古　谷　富　治	176	78	54才
中堅	3段	宮　越　将　太	169	86	40才
先鋒	5段	窪　田　和　樹	181	90	37才

東　海



監　督　　5段　　藤　田　俊　治

	段位	氏　名	身長	体重	年令
大将	4段	西　岡　正　訓	171	75	53才
中堅	5段	星　野　紘　輝	176	93	48才
先鋒	4段	下　山　徳　大	164	73	37才

近　畿



監　督　　5段　　岡　田　達　也

	段位	氏　名	身長	体重	年令
大将	4段	神　農　新　矢	175	100	52才
中堅	6段	前　田　和　規	180	75	49才
先鋒	5段	兼　田　旭　紘	168	88	48才

大　阪



監　督　　7段　　伊　藤　和　仁

	段位	氏　名	身長	体重	年令
大将	6段	平　田　和　義	175	98	55才
中堅	7段	桂　　剛	177	100	54才
先鋒	3段	峰　松　秀　樹	175	80	33才

中　国



監　督　　6段　　渡　辺　　剛

	段位	氏　名	身長	体重	年令
大将	3段	山　根　一　人	180	105	58才
中堅	4段	児　玉　和　治	167	84	48才
先鋒	5段	山　口　剛　志	172	95	40才

四　国



監　督　　3段　　西　田　　寛

	段位	氏　名	身長	体重	年令
大将	5段	福　井　宏　治	177	99	53才
中堅	5段	古　味　直　憲	175	95	48才
先鋒	2段	川　原　立　也	165	87	26才

九　州



監　督　　6段　　重　松　哲　夫

	段位	氏　名	身長	体重	年令
大将	6段	坂　本　慎　吾	168	77	52才
中堅	4段	角　本　英　昭	180	110	49才
先鋒	5段	奈　須　康　哲	180	83	37才

第7回 全国柔道整復師高段者大会要項

1.日　　時	令和8年11月8日（日）午前10時　開始
2.会　　場	講道館 〒112-0003　東京都文京区春日１丁目16の30
3.主　　催	公益社団法人日本柔道整復師会
4.後　　援	東京都、公益財団法人講道館、公益財団法人全日本柔道連盟、 公益財団法人東京都柔道連盟、産経新聞社
5.協　　賛	公益社団法人全国柔道整復学校協会、公益財団法人柔道整復研修試験財団、 一般社団法人日本柔道整復接骨医学会、日本柔道整復師協同組合
6.参加資格	下記⑴から⑵をいずれも満たす者。 ⑴全日本柔道連盟に登録している公益社団法人日本柔道整復師会会員または柔道整復師。 ⑵５段以上（女子は３段以上）の段別試合とする。
7.試合方法	個人試合
8.審判規定	⑴「講道館柔道試合審判規定」による。 ⑵試合時間は３分（ゴールデンスコア方式をとらない）。 ⑶試合場は50畳とする。 ⑷選手の体が床・机・椅子・掲示版等に触れそうな場合は「待て」をかけるものとする。 ⑸一人１試合、ただし出場者が奇数となった場合等、主催者（事業部）の判断で例外的な対応をとる場合あり。
9.申込方法	⑴所定の参加申込書（エクセルファイル）により、所属の都道府県柔道整復師会経由で日本柔道整復師会あてメール（日整事業部：jigyo@shadan-nissei.or.jp ）で申し込むこと（押印済みの原本は日整あて郵送のこと）。 ⑵日本柔道整復師会会員外の柔道整復師は、最寄の都道府県柔道整復師会をとおして申し込みをすること。 ⑶申し込み締切日は8月末日必着とする。 ⑷申込者多数となり大会運営上可能な範囲を超えた場合は、事前の予告なく、主催者（事業部）の判断で、申込受付を締め切る場合あり。
10.表　　彰	今大会優秀者
11.組　合　せ	年齢などを考慮して主催者（事業部）がこれを行う。
12.そ　の　他	⑴交通費、宿泊費は、出場者負担とする。 ⑵出場者の傷害保険は主催者負担とする。 ⑶試合当日は、健康保険証または資格確認書のコピーを持参すること。 ⑷負傷した者は直ちに救護係に報告し、大会顧問医の診察を受け、報告書を提出すること。 ⑸大会当日負傷して、やむを得ず病院等に搬送された場合、初診時費用は主催者負担とする。ただし、この報告書の提出なき者は、全額自己負担とする。大会終了後は受け付けない。 ⑹やむを得ず、出場者が欠席することとなった場合は、大会開始までに所属の都道府県柔道整復師会又は本人が選手係に届出ること。 ⑺試合時間に遅れた者は出場できないので注意のこと。

第7回 全国柔道整復師高段者大会
組合せ

五段の部

関　　恭　平（茨城県）	—	荻　野　裕　介（埼玉県）
山　本　良太郎（北海道）	—	上　田　乃　弘（埼玉県）

六段の部

青　木　竜　也（茨城県）	—	中　山　智　史（岐阜県）
藤　野　信　二（千葉県）	—	柘　植　久　嗣（愛知県）
澤　田　哲　也（北海道）	—	三　並　孝　豪（岐阜県）

日整全国少年柔道大会 栄光の記録

回	年月日／会場	優勝	準優勝	第3位	第3位
第1回	H.4.10.4 講道館	東北	東海西部	近畿	中関東
第2回	H.5.10.3 講道館	近畿	大阪	北海道	北信越西部
第3回	H.6.10.2 講道館	北信越西部	中関東	大阪	東京A
第4回	H.7.10.15 講道館	大阪	北信越西部	北海道	北信越東部
第5回	H.8.10.6 講道館	北信越西部	北海道	南関東	九州
第6回	H.9.10.12 講道館	羽島柔道少年団（岐阜県）	三国町柔道教室（福井県）	岡山錬成会（岡山県）	北冨士柔道スポーツ少年団（山梨県）
第7回	H.10.10.11 講道館	東福岡柔道教室（福岡県）	羽島柔道少年団（岐阜県）	相武館吉田道場（神奈川県）	共栄塾中田道場（富山県）
第8回	H.11.10.11 講道館	黒崎町柔道連盟（新潟県）	一道館田代道場（東京A）	東福岡道場教室（福岡県）	大石道場（愛知県）
第9回	H.12.10.9 講道館	五條五大館道場（奈良県）	朝飛道場（神奈川県）	正導館米田道場（大阪府）	黒崎町柔道連盟（新潟県）
第10回	H.13.10.8 講道館	愛知県	北海道	三重県	奈良県
第11回	H.14.10.14 講道館	福岡県	長野県	神奈川県	千葉県
第12回	H.15.10.13 講道館	岐阜県	愛知県	兵庫県	和歌山県
第13回	H.16.10.11 講道館	愛知県	奈良県	熊本県	宮崎県
第14回	H.17.10.10 講道館	兵庫県	広島県	神奈川県	千葉県
第15回	H.18.10.9 講道館	奈良県	福井県	兵庫県	徳島県
第16回	H.19.10.8 講道館	宮崎県	大阪府	広島県	福岡県
第17回	H.20.10.13 講道館	神奈川県	北海道	兵庫県	青森県
第18回	H.21.10.12 講道館	兵庫県	愛知県	神奈川県	広島県
第19回	H.22.10.11 講道館	神奈川県	奈良県	東京A	徳島県
第20回	H.23.10.10 講道館	神奈川県	茨城県	三重県	東京A
第21回	H.24.10.8 講道館	茨城県	神奈川県	京都府	大阪府
第22回	H.25.10.14 講道館	茨城県	愛知県	岐阜県	富山県
第23回	H.26.10.13 講道館	青森県	山口県	広島県	愛知県
第24回	H.27.10.12 講道館	千葉県	広島県	神奈川県	兵庫県
第25回	H.28.10.9 講道館	千葉県	茨城県	東京A	大阪府
第26回	H.29.10.8 講道館	愛知県	岐阜県	静岡県	熊本県
第27回	H.30.10.7 講道館	兵庫県	神奈川県	愛媛県	秋田県
第28回	R.1.10.14 講道館	台風の影響のため中止			
第29回	R.2.11.22 講道館	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
第30回	R.3.11.21 講道館	兵庫県	千葉県	愛知県	三重県
第31回	R.4.11.20 講道館	三重県	長崎県	広島県	宮崎県
第32回	R.5.11.19 講道館	宮崎県	広島県	千葉県	奈良県
第33回	R.6.11.17 講道館	宮崎県	大阪府	長崎県	広島県
第34回	R.7.11.16 講道館	宮崎県	千葉県	茨城県	大阪府

回	年月日／会　場	優　勝	準優勝	第三位	第三位
第35回	R.8.11.8　講　道　館				

日整全国柔道大会 栄光の記録

回	年月日／会　場	優　勝	準優勝	第三位	第三位
第１回	S.30.2.20　講　道　館	（青年の部）			
		関本　進(茨　城)	古関光正(宮　城)	川口良男(神奈川)	
		（壮年前期の部）			
		髙嶋道夫(富　山)	伊勢茂一(兵　庫)	二瓶英雄(北海道)	
		（壮年後期の部）			
		田代文衛(愛　知)	萩原広雄(兵　庫)	本部正雄(東　京)	
第２回	S.53.10.28　講　道　館	南　関　東	北信越西部	四　国	北　関　東
第３回	S.54.9.1　京都旧武徳殿	北信越西部	東　北	南　関　東	東海西部
第４回	S.55.8.30　講　道　館	東海東部	東　北	北信越西部	西　東　京
第５回	S.56.10.24　横浜文化体育館	九　州	大　阪	南　関　東	北　関　東
第６回	S.57.9.18　愛知県スポーツ会館	東　京	九　州	東　北	東海東部
第７回	S.58.11.5　神戸市立中央体育館	東　北	東　京	北信越西部	九　州
第８回	S.59.10.27　講　道　館	東　北	東　京	北　関　東	東海東部
第９回	S.60.10.26　新潟市鳥屋野総合体育館武道場	東　北	北　海　道	南　関　東	東　京
第10回	S.61.10.25　千葉県武道館	東　北	東　京	北　関　東	東海東部
第11回	S.62.10.24　大阪市立修道館	東海東部	東　京	東　北	九　州
第12回	S.63.10.22　宮城県武道館	東海東部	東　京	北信越西部	大　阪
第13回	H.元.10.28　京都市武道センター	近　畿	東　京	東海東部	東　北
第14回	H.2.10.27　埼玉県立武道館	東海東部	南　関　東	中　関　東	東海西部
第15回	H.3.10.26　岡山県立武道館	東海東部	北信越西部	近　畿	東　北
(通算16回) 第１回	H.4.10.4　講　道　館	北　海　道	東　北	九　州	
(通算17回) 第２回	H.5.10.3　講　道　館	東　北	東海東部	東　京	
(通算18回) 第３回	H.6.10.2　講　道　館	東海東部	北　海　道	東　北	
第19回	H.7.10.15　講　道　館	東海東部	東　京	九　州	北　海　道
第20回	H.8.10.6　講　道　館	東海東部	東　京	南　関　東	九　州
第21回	H.9.10.12　講　道　館	東　京	南　関　東	東海東部	北信越西部
第22回	H.10.10.11　講　道　館	東　京	北信越西部	北　関　東	南　関　東
第23回	H.11.10.11　講　道　館	東　京	東海東部	北信越西部	東　北
第24回	H.12.10.9　講　道　館	東　京	北信越西部	中　関　東	北信越東部
第25回	H.13.10.8　講　道　館	東　京	中　関　東	近　畿	北　関　東
第26回	H.14.10.14　講　道　館	東　京	東海東部	大　阪	九　州

回	年月日／会　場	優　勝	準優勝	第三位	第三位
第27回	H.15.10.13　講　道　館	大　阪	中　関　東	中　国	九　州
第28回	H.16.10.11　講　道　館	北信越西部	九　州	東　北	北　関　東
第29回	H.17.10.10　講　道　館	九　州	中　国	北信越西部B	北信越西部A
第30回	H.18.10. 9　講　道　館	大　阪	東　京	北信越西部	九　州　A
第31回	H.19.10. 8　講　道　館	東　京	北信越東部	大　阪　A	中　国
第32回	H.20.10.13　講　道　館	東　京　A	九　州	大　阪	北信越西部
第33回	H.21.10.12　講　道　館	東　京　A	南　関　東	北信越西部	東　京　B
第34回	H.22.10.11　講　道　館	北信越西部	東　京　A	北信越東部	南　関　東
第35回	H.23.10.10　講　道　館	東　京	北信越西部A	東海東部	大　阪
第36回	H.24.10. 8　講　道　館	北信越西部	東海東部	東　京　A	東　京　B
第37回	H.25.10.14　講　道　館	近　畿	東　京	北信越西部B	北信越西部A
第38回	H.26.10.13　講　道　館	南　関　東	北信越西部	中　関　東	北　海　道
第39回	H.27.10.12　講　道　館	東　京	近　畿	北信越西部	南関東　B
第40回	H.28.10. 9　講　道　館	南　関　東	北信越西部	北　関　東	中　関　東
第41回	H.29.10. 8　講　道　館	南関東　B	近　畿	東海東部	九　州
第42回	H.30.10. 7　講　道　館	近　畿	北信越西部	東　北	北　関　東
第43回	R. 1.10.14　講　道　館	台風の影響のため中止			
第44回	R. 7.11.16　講　道　館	四　国	東　海	九　州	北　信　越
第45回	R. 8.11. 8　講　道　館				

日整全国少年柔道「形」競技会　栄光の記録

回	年月日／会　場	第1位	第2位	第3位	第4位
第1回	H.23.10.10　講　道　館	宮　崎　県	神奈川県	東　京　都	岡　山　県
第2回	H.24.10. 8　講　道　館	愛　知　県	香　川　県	三　重　県	岡　山　県
第3回	H.25.10.14　講　道　館	東　京　都	岡　山　県	福　井　県	三　重　県
第4回	H.26.10.13　講　道　館	東　京　A	青　森　A	兵　庫　県	岐　阜　県
第5回	H.27.10.12　講　道　館	愛　知　県	香　川　県	北海道　A	静　岡　県
第6回	H.28.10. 9　講　道　館	岐　阜　県	愛　知　県	神奈川県	大　阪　府
第7回	H.29.10. 8　講　道　館	青　森　県	北海道　A	岡　山　県	三　重　県
第8回	H.30.10. 7　講　道　館	兵　庫　県	青　森　県	神奈川県	北海道　B
第9回	R. 1.10.14　講　道　館	台風の影響のため中止			
第10回	R. 2.11.22　講　道　館	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
第11回	R. 3.11.21　講　道　館	兵　庫　県	岡　山　県	香　川　県	青　森　県
第12回	R. 4.11.20　講　道　館	兵　庫　県	岡　山　県	大　阪　府	千　葉　県
第13回	R. 5.11.19　講　道　館	兵　庫　県	東　京　都	大　阪　府	滋　賀　県
第14回	R. 6.11.17　講　道　館	兵　庫　県	大　阪　府	青　森　県	富　山　県
第15回	R. 7.11.16　講　道　館	東　京　都	兵　庫　県	新　潟　県	大　阪　府
第16回	R. 8.11. 8　講　道　館				

日整全国柔道大会「形」演武者

（敬称略・順不同）

回	年月日	会場	演技者			所属
第1回	S.30.2.20	講道館	（投の形）	（取）蔦谷　正雄	（受）高野　甚平	（東京都）
			（偽我流表形）	（捕）伊東　清治	（受）関口　敏雄	（東京都）
			（無想流之形）	井上清三郎	谷本　一一	（香川県）
			（香取神道流居合術）		杉野　嘉男	（神奈川県）
			（双水執流柔術腰廻之形）		佐藤昇一郎	（東京都）
			（警視流拳法之形）	（捕）東城福三郎	（受）鈴木　鑠	（東京都）
			（真蔭流柔術之形）	（捕）三上賢治郎	（受）瀧沢常三郎	（東京都）
			（天神真揚流柔術之形）	（捕）関根　源内	（受）関根　英男	（東京都）
			（天神真揚流柔術之形）		（捕）宮本　半蔵 （受）岩佐　之	（東京都） （宮城県）
			（極の形）	（取）前田　武郷	（受）仙波　忠雄	（東京都）
			（古式の形）	（取）黒須　春次	（受）藤田　政信	（東京都）
第2回	S.53.10.28	講道館	（投の形）	（取）六段　渋谷　正久	（受）五段　須藤　安通	（東京都）
			（古式の形）	（取）八段　大沢貫一郎	（受）七段　三浦　六郎	（東京都）
第3回	S.54.9.1	京都旧武徳殿	（投の形）	（取）六段　大槻　桝美	（受）五段　三宅　博道	（京都府）
			（古式の形）	（取）八段　中村治一郎	（受）八段　廣谷　正己	（京都府）
第4回	S.55.8.30	講道館	（投の形）	（取）六段　六郷　浩庸	（受）五段　岩崎　律義	（愛知県）
			（極の形）	（取）八段　渡辺利一郎	（受）五段　鈴木　健一	（神奈川県）
第5回	S.56.10.24	横浜文化体育館	（投の形）	（取）四段　林　紀博	（受）四段　山下三樹夫	（北海道）
			（古式の形）	（取）八段　島谷　一美	（受）六段　鈴木　荘士	（宮城県）
第6回	S.57.9.18	愛知県スポーツ会館	（投の形）	（取）七段　加藤　亨	（受）七段　武原　利雄	（大分県）
			（古式の形）	（取）八段　小島　吉雄	（受）六段　稲木　博	（福井県）
第7回	S.58.11.5	神戸市立中央体育館	（投の形）	（取）五段　湯浅　光範	（受）五段　石岡　順三	（広島県）
			（古式の形）	（取）八段　湊　庄市	（受）八段　原田　岩雄	（徳島県）
第8回	S.59.10.27	講道館	（極の形）	（取）六段　高木　志行	（受）六段　長ヶ部孔司	（東京都）
			（古式の形）	（取）八段　伊藤　秋夫	（受）八段　三浦　六郎	（東京都）
第9回	S.60.10.26	新潟市鳥谷野総合体育館武道場	（投の形）	（取）五段　伊東　祐男	（受）五段　霜鳥　芳男	（新潟県）
			（古式の形）	（取）七段　勝山　清一	（受）八段　久保　照夫	（富山県）
第10回	S.61.10.25	千葉武道館	（投の形）	（取）八段　加藤　幸夫	（受）六段　須賀　康明	（千葉県）
			（古式の形）	（取）九段　鈴木　鳥松	（受）七段　下野　努	（茨城県）
第11回	S.62.10.24	大阪市立修道館	（極の形）	（取）六段　岩田　勝	（受）五段　松下　倫久	（大阪府）
			（古式の形）	（取）八段　中井　秀雄	（受）八段　廣谷　正己	（京都府）
第12回	S.63.10.22	宮城県武道館	（投裏の形）	（取）七段　工藤　兼雄	（受）四段　工藤　克之	（秋田県）
			（古式の形）	（取）九段　島谷　一美	（受）七段　鈴木　壮士	（宮城県）
第13回	H.元.10.28	京都市武道センター	（五の形）	（取）八段　中井　秀雄	（受）八段　廣谷　正己	（京都府）
			（極の形）	（取）七段　井上　彰二	（受）六段　道家　勝昭	（京都府）
第14回	H.2.10.27	埼玉県立武道館	（古式の形）	（取）七段　中野　高男	（受）六段　村田　次郎	（埼玉県）
			（極の形）	（取）七段　石田金次郎	（受）七段　會田　俊雄	（埼玉県）
第15回	H.3.10.26	岡山武道館	（極の形）	（取）八段　佐藤　克己	（受）七段　坪井　昇	（岡山県）
			（起倒流）	（取）七段　内野　幸重	（受）五段　大谷　崇正	（岡山県）
第16回	H.4.10.4	講道館	（極の形）	（取）七段　都築　茂	（受）七段　春日　邦人	（東京都）
			（天神真揚流・投捨の形）		（取）免許　柴田　孝一 （受）　柴田　孝和	（東京都）
第17回	H.5.10.3	講道館	（投の形）	（取）六段　田中　一郎	（受）五段　下地　秀和	（東京都）
			（五の形）	（取）八段　鈴木　義彦	（受）八段　新岡　正三	（東京都）
第18回	H.6.10.2	講道館	（極の形）	（取）六段　篠原　範昭	（受）七段　長ヶ部孔司	（東京都）
			（柔の形）	（取）六段　梅津　勝子	（受）三段　川島　芳江	（東京都）
第19回	H.7.10.15	講道館	（投の形）	（取）七段　英　道生	（受）六段　斉藤　英男	（神奈川県）
			（古式の形）	（取）七段　中野　高男	（受）七段　村田　次郎	（埼玉県）
第20回	H.8.10.6	講道館	（投の形）	（取）六段　吉田　正治	（受）五段　相沢　克己	（千葉県）
			（古式の形）		（取）八段　下野　努 （受）七段　鈴木　荘士	（茨城県） （宮城県）
第21回	H.9.10.12	講道館	（投の形）	（取）六段　荻野　和重	（受）五段　荻野　義之	（埼玉県）
			（古式の形）	（取）七段　野村　喜好	（受）六段　前原　幸治	（東京都）

回	年月日	会場	演技者			所属
第22回	H.10.10.11	講道館	(投の形)	(取) 六段 大藤 忠昭	(受) 五段 田島 隆行	(群馬県)
			(古式の形)	(取) 七段 木下 尚光	(受) 五段 出雲 政夫	(栃木県)
第23回	H.11.10.11	講道館	(投の形)	(投) 四段 小池 正人	(受) 三段 稲見 浩一	(大阪府)
			(起倒流之形)	(取形) 七段 井上 彰二	(請立) 五段 岡島 順	(京都府)
第24回	H.12.10.9	講道館	(柔の形)		(取) 五段 横山 悦子 (受) 四段 大森 千草	(福井県) (長野県)
			(古式の形)	(取) 七段 林 岩男	(受) 六段 吉留 義幸	(鹿児島県)
第25回	H.13.10.8	講道館	(柔の形)	(取) 四段 川島 芳江	(受) 三段 鶴岡 圭	(東京都)
			(五の形)	(取) 七段 松本 裕司	(受) 五段 竹田 昌司	(香川県)
第26回	H.14.10.14	講道館	(投の形)	(取) 七段 室田 晴康	(受) 五段 葉名尻 任	(北海道)
			(講道館護身術)	(取) 六段 酒井 義之	(受) 六段 中村 寿一	(静岡県)
第27回	H.15.10.13	講道館	(柔の形)	(取) 六段 大久保達朗	(受) 五段 重松 哲夫	(福岡県)
			(五の形)	(取) 六段 末永 明信	(受) 六段 神田 雅春	(富山県)
第28回	H.16.10.11	講道館	(投の形)	(取) 六段 富田 康之	(受) 五段 前浜 忠成	(兵庫県)
			(古式の形)	(取) 七段 齋藤 尚道	(受) 六段 奈良岡英雄	(青森県)
第29回	H.17.10.10	講道館	(投の形)	(取) 五段 渡邉 勇次	(受) 五段 篠田 善晴	(岐阜県)
			(固の形)	(取) 七段 山元 一孝	(受) 六段 奈須 開生	(宮崎県)
第30回	H.18.10.9	講道館	(古式の形)	(取) 七段 原田 照夫	(受) 五段 小沢 昭夫	(埼玉県)
第31回	H.19.10.8	講道館	(柔の形)	(取) 六段 伊福 義雄	(受) 五段 甲斐 浩二	(宮崎県)
			(極の形)	(取) 六段 榎本 好根	(受) 五段 春日井和幸	(愛知県)
第32回	H.20.10.13	講道館	(投の形)	(取) 六段 内山 貴之	(受) 三段 松井 孝文	(長野県)
			(柔の形)	(取) 五段 相羽 秀昭	(受) 五段 森 正仁	(愛知県)
第33回	H.21.10.12	講道館	(柔の形)	(取) 六段 榎本 好根	(受) 五段 春日井和幸	(愛知県)
			(固の形)	(取) 六段 眞中 進	(受) 六段 一ツ柳 明	(茨城県)
第34回	H.22.10.11	講道館	(講道館護身術)	(取) 六段 榎本 好根	(受) 六段 中村 太	(愛知県)
				(取) 五段 甲斐 浩二	(受) 六段 伊福 義雄	(宮崎県)
			(柔の形)	(取) 五段 荒井 薫	(受) 四段 大橋 智洋	(栃木県)
				(取) 六段 藤川 進	(受) 五段 櫻井 太郎	(群馬県)
			(五の形)	(取) 七段 渕辺 吉博	(受) 六段 小澤 昭夫	(埼玉県)
第35回	H.23.10.10	講道館	(五の形)	(取) 六段 細貝 昭吾	(受) 六段 藤川 進	(群馬県)
				(取) 六段 森 正仁	(受) 五段 相羽 秀昭	(愛知県)
			(柔の形)	(取) 初段 川村 麻衣	(受) 五段 櫻井 太郎	(群馬県)
第36回	H.24.10.8	講道館	(投の形)	(取) 六段 室田 次朗	(受) 六段 徳留 義見	(神奈川県)
				(取) 三段 三村 真輝	(受) 五段 藤原 靖真	(岡山県)
			(柔の形)	(取) 五段 青木 保宏	(受) 六段 榎本 好根	(愛知県)
			(古式の形)	(取) 五段 春日井和幸	(受) 六段 中村 太	(愛知県)
第37回	H.25.10.14	講道館	(極の形)	(取) 六段 中澤 伸一	(受) 五段 中澤 正	(北海道)
			(固の形)	(取) 六段 夫馬喜久治	(受) 五段 春日井和幸	(愛知県)
			(柔の形)	(取) 六段 真中 進	(受) 五段 青木 竜也	(茨城県)
				(取) 五段 相羽 秀昭	(受) 六段 森 正仁	(愛知県)
第38回	H.26.10.13	講道館	(柔の形)	(取) 七段 横山 悦子	(受) 六段 大森 千草	(長野県)
			(固の形)	(取) 四段 中山 智史	(受) 四段 林 聖治	(岐阜県)
			(講道館護身術)	(取) 六段 阿部 達夫	(受) 七段 難波 英樹	(東京都)
			(五の形)	(取) 六段 山本 幸雄	(受) 六段 川口 稔	(福井県)
第39回	H.27.10.12	講道館	(投の形)	(取) 六段 藤崎 満	(受) 六段 妹尾 徹	(千葉県)
			(古式の形)	(取) 七段 藤川 進	(受) 六段 細貝 昭吾	(群馬県)
				(取) 七段 見原 道生	(受) 六段 甲斐 浩二	(宮崎県)
第40回	H.28.10.9	講道館	(投の形)	(取) 五段 内山 貴之	(受) 三段 尾崎 準	(長野県)
			(固の形)	(取) 四段 中山 智史	(受) 四段 林 聖治	(岐阜県)
第41回	H.29.10.8	講道館	(古式の形)	(取) 七段 藤川 進	(受) 七段 細貝 昭吾	(群馬県)
第42回	H.30.10.7	講道館	(固の形)	(取) 五段 中山 智史	(受) 五段 林 聖治	(岐阜県)
			(柔の形)	(取) 四段 石田 桃子	(受) 三段 石田真理子	(愛知県)

日整全国柔道大会 功労表彰者氏名

（敬称略・順不同）

回・年月日	氏　名
第７回 （S.58.11.5）	滝沢　茂（東　北）　木暮　昌利（北関東）　田村　四郎（東　京）　望月　映英（東海東部） 渡辺利一郎（南関東）　松下　倫久（大　阪）　工藤喜代廣（南関東）　石橋　良治（中　国） 宮本　隆（南関東）　武田　道昭（四　国）　栗山　昇（北信越東部）　上田　隆三（東　京）
第８回 （S.59.10.27）	田村　彰国（北関東）　吉田　義正（東海東部）　関口　孝義（北関東）　早瀬　高行（東海東部） 加藤　幸夫（南関東）　重白太慧人（中　国）　篠原　博義（北信越東部）　富岡　周三（中　国） 木村　良徳（東海西部）　大川　健介（四　国）　坪田　栄吉（東海西部）　橋本　保範（九　州）
第９回 （S.60.10.26）	佐藤　良夫（東　北）　大前　正行（東海西部）　吉田　公一（北関東）　岩井　克良（北信越西部） 見田　宮三（東海東部）　水野　勝夫（北信越西部）　宗宮　市雄（東海西部）
第10回 （S.61.10.25）	北村　守（北海道）　高宮　廣（東　京）　鈴木　壮士（東　北）　安藤　茂（大　阪） 岩崎　健二（東　北）　山口　政吉（大　阪）　北爪　隆雄（北関東）　柏　固郎（大　阪） 新岡　正三（東　京）　松浦　明弘（大　阪）　三浦　六郎（東　京）　湊　庄市（四　国） 小野澤昭雄（東　京）
第11回 （S.62.10.24）	日野　暢也（北海道）　雑賀　昌盛（近　畿）　浅野　栄一（北信越東部）　田島　常留（九　州） 村山　良治（北信越東部）　野口　幸男（九　州）　伊東　雅和（東海西部）　大住　順治（中　国） 八尋　力（近　畿）
第12回 （S.63.10.22）	特別表彰　木暮　昌利（北関東）（10回） 門屋　賢倍（北海道）　蕪木　和雄（北信越東部）　外尾　真弘（北海道）　石川　裕章（東海東部） 斉藤　貢（東　北）　中上　正男（大　阪）　山浦　道夫（北関東）　長尾　大蔵（大　阪） 池内　博彦（中関東）　西原　一鏘（大　阪）　佐々木政彦（東　京）　河野　弘（中　国） 稲木　博（北信越西部）　西野　和弘（近　畿）
第13回 （H.元.10.28）	特別表彰　富岡　周三（中　国）（10回） 室田　晴康（北海道）　加藤　文蔵（東海西部）　五月女欣也（北関東）　田中　俊彦（東海東部） 英　道生（南関東）　坪井　昇（中　国）　武田　正（東　京）　橋詰　晟（四　国） 飯塚　明（東　京）　清川　義郎（九　州）　神田　雅春（北信越西部）
第14回 （H.2.10.27）	特別表彰　佐藤　良夫（東　北）（10回）　滝沢　茂（東　北）（10回） 宮本　隆（南関東）（10回） 大西　猛（北海道）　須藤　十（東　北）　新井　良政（中関東）　薄井　敏朗（南関東） 松江　隆（大　阪）　中西　敏昭（大　阪）
第15回 （H.3.10.26）	特別表彰　松下　倫久（大　阪）（10回） 井出　昌明（北関東）　加藤伊三郎（中関東）　関口　明（中関東）　中野　高男（中関東） 藤崎　満（南関東）　岩下　富夫（北信越東部）　内山　富之（北信越東部）　小竹　一良（北信越西部） 東　秀光（北信越西部）　酒井　初雄（東海東部）　松本　祐司（四　国）　岡田　安和（中　国）
第16回 （H.4.10.4）	下野　努（中関東）　上條　信治（北信越西部）　小柴徳太郎（東海西部）　槁本　誠（東海東部） 中田喜代司（東海西部）　佐藤　通泰（中　国）　宮岡　健治（四　国）　大住　武（四　国） 久藤　利喜（中　国）　石坂　修一（九　州）
第17回 （H.5.10.3）	特別表彰　小野澤昭雄（東　京）（10回）　西原　一鏘（大　阪）（10回） 倉井　洋治（北関東）　田中　登（南関東）　難波　英樹（東　京）　大森　素久（北信越東部） 木山　時雨（北信越西部）　武田　克彦（東海西部）　磯江　信巌（四　国）　国沢　光雄（四　国）
第18回 （H.6.10.2）	特別表彰　石川　裕章（東海東部）（10回） 山口　正（東　京）　三並　良雄（東海西部）　池田　修平（北信越西部）　久保山　隆（九　州）
第19回 （H.7.10.15）	特別表彰　宮本　隆（南関東）（15回）　富岡　周三（中　国）（15回） 佐々木政彦（中関東）（10回）　五月女欣也（北関東）（10回） 田中　俊彦（東海東部）（10回） 佐藤　武（北信越東部）　瀬尾　健次（東海東部）　千葉　覚貞（北海道）　畑中　稔（中　国） 山下　武（近　畿）　山元　俊隆（東海東部）　小林惣重郎（東　京）　広谷　正己（近　畿） 江田　三男（南関東）　川瀬　泰司（中　国）　大本　広雄（北海道）
第20回 （H.8.10.6）	特別表彰　松下　倫久（大　阪）（15回）　飯塚　明（東　京）（10回） 岩崎　健二（東　北）（10回） 大久保達朗（九　州）　竹谷　斉（北海道）　平尾　良彦（近　畿）　細川　清治（東海西部） 水元　一男（中関東）　吉田　新吾（大　阪）　橋本　昇（東　京）
第21回 （H.9.10.12）	特別表彰　雑賀　昌盛（近　畿）（10回）　松本　祐司（四　国）（10回） 石田　雅明（東海東部）　柴田　秋実（北海道）　高橋　浩一（北関東）　中山　泰雄（四　国） 坂本　恒夫（東　京）　佐藤　勝利（東　京）

回・年月日	氏　名
第22回 （H.10.10.11）	特別表彰　佐藤　良夫（岩　手）（15回） 難波　英樹（東　京）（10回） 飯田　喜七（岡　山）　石坂　秀司（長　野）　内　清治（鹿 児 島）　小椋　国吉（栃　木） 篠原　範昭（東　京）　相馬　孝之（新　潟）　水野　進（静　岡）　宮本　隆弘（神 奈 川） 手嶋新一郎（福　岡）　平田　宏文（徳　島）
第23回 （H.11.10.11）	特別表彰　英　道生（神 奈 川）（10回） 稲垣　智信（北 海 道）　佐藤　太（秋　田）　石田金次郎（埼　玉）　會田　俊雄（埼　玉） 向山　一夫（山　梨）　岩澤　勇治（静　岡）　山下　淳（大　阪）　神原　和成（広　島） 重石　一昭（大　分）
第24回 （H.12.10. 9）	特別表彰　滝沢　茂（青　森）（15回）　神田　雅春（富　山）（10回） 小竹　一良（富　山）（10回） 佐野　秀明（東　京）　玉川　雅淳（愛　知）　吉田　篤生（岐　阜）　磯田　實（兵　庫）
第25回 （H.13.10. 8）	特別表彰　富岡　周三（岡　山）（20回）　佐々木政彦（埼　玉）（15回） 薄井　敏朗（千　葉）（10回）　国澤　光雄（高　知）（10回） 大澤　均（群　馬）　久乗　崇（神 奈 川）　加藤　勝範（新　潟）　北浦　健司（石　川） 伊藤　孝彦（三　重）　渡辺　剛（山　口）　富岡　利仁（香　川）
第26回 （H.14.10.14）	特別表彰　倉井　洋治（栃　木）（10回）　岩下　富夫（長　野）（10回） 吉田　新吾（大　阪）（10回）　中山　泰雄（高　知）（10回） 工藤　克之（秋　田）　山中　宏之（秋　田）　雨谷　紀雄（茨　城）　狩野　浩一（群　馬） 吉野　道夫（神 奈 川）　綱井　照高（東　京）　松岡　慶樹（東　京）　吉井　利夫（東　京） 海津　和正（東　京）　西村　義人（東　京）　別所　道記（東　京）　星野　力（新　潟） 酒井　義之（静　岡）　諸山　和美（愛　知）　土屋　靖（和 歌 山）
第27回 （H.15.10.13）	特別表彰　難波　英樹（東　京）（15回）　田中　俊彦（愛　知）（15回） 佐藤　裕美（北 海 道）　長ヶ部孔司（山　形）　秋元　利幸（埼　玉）　関根　正幸（埼　玉） 海野　富夫（埼　玉）　斎藤　和成（千　葉）　安蒜　松市（千　葉）　小坂　敏幸（千　葉） 前田　武昭（東　京）　宇佐美進三（東　京）　梅津　勝子（東　京）　田中　一郎（東　京） 横山　満（東　京）　高木　志行（東　京）　都築　茂（東　京）　池内　雅胤（東　京） 高須賀靖彦（東　京）　今藤　邦宏（東　京）　高橋　久雄（東　京）　伊藤　満雄（東　京） 山本　幸雄（福　井）　篠田　善晴（岐　阜）　西尾　勝彦（奈　良）　山元　一孝（宮　崎）
第28回 （H.16.10.11）	特別表彰　英　道生（神 奈 川）（15回）　松本　祐司（香　川）（15回） 稲垣　智信（北 海 道）（10回）　小椋　国吉（栃　木）（10回） 岩澤　勇治（静　岡）（10回）　関口　明（埼　玉）（10回） 平尾　良彦（滋　賀）（10回） 簗瀬　豊（栃　木）　吉澤　賢二（栃　木）　嶋村　和彦（群　馬）　芹澤　秀史（神 奈 川） 丸田　克幸（石　川）　八本木通秋（福　井）　森　政彦（大　分）
第29回 （H.17.10.10）	特別表彰　五月女欣也（栃　木）（15回）　雑賀　昌盛（兵　庫）（15回） 佐藤　太（秋　田）（10回）　橋本　誠（三　重）（10回） 神原　和成（広　島）（10回） 有馬　昇（秋　田）　大藤　忠昭（群　馬）　高橋　洋一（埼　玉）　須賀　康明（千　葉） 加藤　彰一（愛　知）　紙谷　建生（愛　知）　黒氏　憲（愛　知）　渡邉　浩二（岐　阜） 田中　義昭（大　阪）　平田　和義（大　阪）　尾高　博（岡　山）　河野　誠（広　島） 松井　清忠（広　島）　鎌倉　和広（香　川）　鈴木　孝年（愛　媛）
第30回 （H.18.10. 9）	特別表彰　久乗　崇（神 奈 川）（10回）　伊藤　孝彦（三　重）（10回） 宮嶋　隆（福　島）　宇井　肇（栃　木）　渕辺　吉博（埼　玉）　村田　次郎（埼　玉） 吉田　孝（千　葉）　吉田　正治（千　葉）　斉藤　英男（神 奈 川）　渡辺　勝男（神 奈 川） 竹野　敬治（石　川）　川口　稔（福　井）　森川　雄策（山　口）　檜山　尚浩（福　岡） 林　岩男（鹿 児 島）
第31回 （H.19.10. 8）	特別表彰　別所　道記（東　京）（10回）　諸山　和美（愛　知）（10回） 山下　淳（大　阪）（10回） 佐々木辰雄（北 海 道）　中村　和志（北 海 道）　新井　博海（埼　玉）　佐々木和行（東　京） 阿部　松雄（新　潟）　斉藤公志郎（長　野）　竹上　勝（愛　知）　石津　佳和（奈　良） 秋山　啓二（大　阪）　牛島　庸夫（大　阪）　桂　剛（大　阪）　中谷　弘（山　口） 塩川　哲也（福　岡）
第32回 （H.20.10.13）	特別表彰　岩下　富夫（長　野）（15回）　佐藤　裕美（北 海 道）（10回） 石坂　修一（福　岡）（10回） 草原　征司（北 海 道）　竹内　公悦（青　森）　成田　正人（青　森）　藤川　進（群　馬） 荻野　義之（埼　玉）　森　暁夫（神 奈 川）　小鳥居寛仁（山　梨）　下地　秀和（東　京） 吉川　政寛（石　川）　山根　一人（岡　山）

回・年月日	氏　名
第33回 (H.21.10.12)	特別表彰　難波　英樹(東　京)(20回)　稲垣　智信(北 海 道)(15回) 岩澤　勇治(静　岡)(15回)　有馬　昇(秋　田)(10回) 嶋村　和彦(群　馬)(10回)　佐野　秀明(東　京)(10回) 市川　建(栃　木)　岡本　雅信(千　葉)　森澤　秀一(千　葉)　根岸　清道(神 奈 川) 大澤　正英(山　梨)　立河　洋(東　京)　伊東　祐男(新　潟)　牛木　幹人(新　潟) 小倉　弘行(石　川)　橋本　覚(三　重)　竹谷　俊幸(兵　庫)　坂本　慎吾(宮　崎)
第34回 (H.22.10.11)	特別表彰　五月女欣也(栃　木)(20回)　髙橋　洋一(埼　玉)(10回) 宮本　隆弘(神 奈 川)(10回)　平田　和義(大　阪)(10回) 丹尾　辰彦(茨　城)　新井　丈夫(埼　玉)　宮越　務(富　山)　山本　俊広(京　都) 平野　相徳(和 歌 山)　正木　一将(和 歌 山)　小池　正人(大　阪)　藤原　澄男(岡　山) 奈須　開生(宮　崎)
第35回 (H.23.10.10)	特別表彰　薄井　敏朗(千　葉)(15回)　狩野　浩一(群　馬)(10回) 川口　稔(福　井)(10回)　森川　雄策(山　口)(10回) 檜山　尚浩(福　岡)(10回) 工藤　渉(青　森)　一ツ柳　明(茨　城)　登本　茂芳(埼　玉)　渡邊　秀樹(山　梨) 畑山　元政(東　京)　岩下　貴士(長　野)　高塚　剣(愛　知)　中井　孝好(三　重) 三並　孝豪(岐　阜)　吉本　大輔(高　知)　小林　信哉(福　岡)　平山　隆裕(佐　賀)
第36回 (H.24.10.8)	特別表彰　別所　道記(東　京)(15回)　黒氏　憲(愛　知)(10回) 鈴木　孝年(愛　媛)(10回) 高木　啓光(群　馬)　細谷　吉隆(千　葉)　車　耕作(神 奈 川)　小川　高巧(神 奈 川) 大村　昌弘(東　京)　岡本　栄治(東　京)　古谷　富治(新　潟)　小林　修(長　野) 河合　優(富　山)　西岡　正訓(三　重)　細野　勝己(岐　阜)　小田　剛(大　阪) 茂木　春喜(高　知)　伊福　義雄(宮　崎)
第37回 (H.25.10.14)	特別表彰　佐藤　裕美(北 海 道)(15回)　神原　和成(広　島)(15回) 桂　剛(大　阪)(10回)　中谷　弘(山　口)(10回) 冨岡　利仁(香　川)(10回) 新井　伸章(埼　玉)　髙橋　靖(埼　玉)　大友　隆雄(神 奈 川)　加藤　学(神 奈 川) 坂本　周作(神 奈 川)　上本　英彦(東　京)　木目沢哲哉(東　京)　津久井佑隆(東　京) 原　豊(東　京)　北村　公(新　潟)　榎本　好根(愛　知)　湊谷　知幹(京　都) 黒田　善治(和 歌 山)　石居　謙二(大　阪)　古味　直憲(高　知)　重松　哲夫(福　岡)
第38回 (H.26.10.13)	特別表彰　岩澤　勇治(静　岡)(20回) 牛木　幹人(新　潟)(10回)　小倉　弘行(石　川)(10回) 北浦　健司(石　川)(10回)　篠田　善晴(岐　阜)(10回) 高橋　一夫(北 海 道)　中澤　伸一(北 海 道)　徳留　義見(神 奈 川)　豊島　公(東　京) 奥川　賢一(東　京)　城賓　忠信(石　川)　田中　寿人(石　川)
第39回 (H.27.10.12)	特別表彰　小椋　国吉(栃 木 県)(15回)　岡本　雅信(千 葉 県)(10回) 佐藤　克広(北 海 道)　和久　朋行(北 海 道)　大河原　孝(岩 手 県)　佐藤　昭彦(宮 城 県) 妹尾　徹(千 葉 県)　松本　鉄雄(神奈川県)　杉本　秀人(東 京 都)　斉藤　文教(東 京 都) 村山　洸介(長 野 県)　一瀬　克紘(静 岡 県)　中山　智史(岐 阜 県)　大矢　八平(兵 庫 県) 玉山　晋治(大 阪 府)　樋口　真臣(大 阪 府)
第40回 (H.28.10.9)	特別表彰　髙橋　洋一(埼 玉 県)(15回)　森川　雄策(山 口 県)(15回) 岩下　貴士(長 野 県)(10回)　八本木通秋(福 井 県)(10回) 石田　雅明(愛 知 県)(10回) 筒井　寛幸(北 海 道)　松本　明(茨 城 道)　刈屋　遵(栃 木 県)　田島　隆行(群 馬 県) 渡邉　健司(千 葉 県)　松﨑　勝美(神奈川県)　渡邊　易彦(山 梨 都)　春日井和幸(愛 知 都) 札堂　勇(三 重 県)　片田　敏司(岐 阜 県)　多田　慎吾(香 川 県)　安東　鉄男(大 分 県)
第41回 (H.29.10.8)	特別表彰　嶋村　和彦(群 馬 県)(15回)　檜山　尚浩(福 岡 県)(15回) 山下　淳(大 阪 府)(15回)　工藤　渉(青 森 県)(10回) 吉本　大輔(高 知 県)(10回) 澤田　哲也(北 海 道)　金子　哲久(埼 玉 県)　井上　直哉(東 京 都)　和田　雅史(東 京 都) 吉田　卓実(静 岡 県)　相羽　秀昭(愛 知 県)　馬場 健太郎(熊 本 県)
第42回 (H.30.10.7)	特別表彰　薄井　敏朗(千 葉 県)(20回)　桂　剛(大 阪 府)(15回) 平田　和義(大 阪 府)(15回)　新井　伸章(埼 玉 県)(10回) 登本　茂芳(埼 玉 県)(10回)　坂本　周作(神奈川県)(10回) 斉藤 公志郎(長 野 県)(10回)　湊谷　知幹(京 都 府)(10回) 古味　直憲(高 知 県)(10回)

回・年月日	氏　名
第42回 （H. 30. 10. 7 ）	有櫛　裕樹（北 海 道）　木村　清徳（宮 城 県）　野田　康二（宮 城 県）　松田　幸泰（秋 田 県） 高橋 喜久雄（山 形 県）　眞中　進（茨 城 県）　倉井　康雄（栃 木 県）　荻野　和重（埼 玉 県） 村田　四郎（埼 玉 県）　室田　次朗（神奈川県）　渡辺　直也（山 梨 県）　内山　貴之（長 野 県） 佐々木 西盛（福 井 県）　佐藤　泰史（静 岡 県）　渡邊　正人（静 岡 県）　森　正仁（愛 知 県） 羽田野　剛（愛 知 県）　川﨑　洋平（三 重 県）　日下部 正樹（岐 阜 県）　渡邉　勇次（岐 阜 県） 久西　睦人（滋 賀 県）　杉尾　裕司（滋 賀 県）　ｶﾝﾊﾟｰﾄﾙ･ﾌﾃﾞﾚﾑﾝﾌ（京 都 府）　井上　彰二（京 都 府） 大西　辰博（京 都 府）　梶谷　登（奈 良 県）　磯田　和伸（兵 庫 県）　伊藤　和仁（大 阪 府） 田村　修（広 島 県）　若月　宏之（山 口 県）　山口　剛志（山 口 県）　河邉　法隆（香 川 県） 大平　篤（香 川 県）　音泉　秀樹（香 川 県）　沖　秀和（愛 媛 県）　魚﨑 陽一郎（愛 媛 県） 亀岡　英仁（愛 媛 県）　堀　敏夫（徳 島 県）　永竿　茂男（大 分 県）　今村　昭紀（大 分 県） 古澤　均（佐 賀 県）　兵動　信博（佐 賀 県）　清崎　威朗（熊 本 県）　林　岩宏（鹿児島県）
第43回 （R. 1 . 10. 14）	特別表彰　宮本　隆弘（神奈川県）（15 回） 根岸　清道（神奈川県）（10 回）　田中　寿人（石川県）（10 回） 茂木　春喜（高 知 県）（10 回） 工藤　重孝（北 海 道）　西尾　義裕（北 海 道）　葉名尻　亘（北 海 道）　渡部　康光（宮 城 県） 相沢　寿（茨 城 県）　石井　洋（群 馬 県）　小野塚　弘（群 馬 県）　根岸　誉和（群 馬 県） 渡辺　和洋（群 馬 県）　渡辺　良行（群 馬 県）　渡邉　公（千 葉 県）　清水　泰平（神奈川県） 松村　直行（長 野 県）　浅井　友哉（愛 知 県）　古市　博己（三 重 県）　岡田　達也（京 都 府） 木村　友慈（奈 良 県）　木村　正明（和歌山県）　山口　真一（大 阪 府）　田中　栄一（岡 山 県） 福井　宏治（愛 媛 県）　見原　道生（宮 崎 県）
第44回 （R. 8 . 11. 8 ）	特別表彰　川口　稔（福井県）（15 回） 久保　忠之（北 海 道）　武田　吉和（山 形 県）　佐間田　仁（茨 城 県）　倉持　雅之（栃 木 県） 寺内　秀夫（栃 木 県）　茂木　恒（埼 玉 県）　車　耕一（神奈川県）　芦澤　尚秀（山 梨 県） 寶田　健（東 京 都）　野川　浩毅（福 井 県）　黒川　康信（福 井 県）　中村　太（愛 知 県） 星野　紘輝（岐 阜 県）　前田　剛伸（滋 賀 県）　長谷川 明利（大 阪 府）　髙石　雅徳（福 岡 県） 森　一馬（大 分 県）　西村　英樹（佐 賀 県）　立石　勝也（熊 本 県）　境　憲泰（熊 本 県）
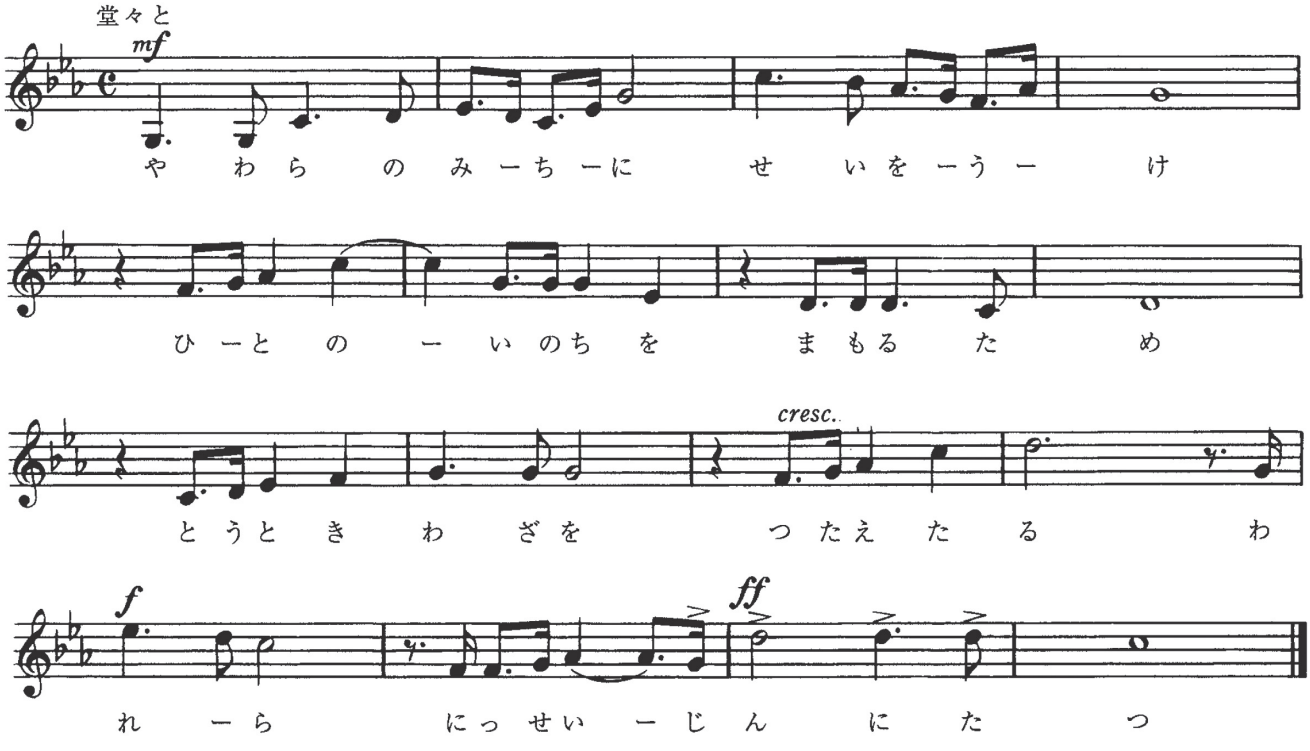
MEMO

みんなで柔道MINDを育もう！



日　整　会　歌

作詞　永井敬士
作曲　飯沼良雄



日整会歌

作詞　永井　敬士
作曲　飯沼　良雄

一、やわらの道に　生をうけ
人の命を　守るため
とうとき技を　伝えたる
われら日整　仁(じん)に起(た)つ

二、至難の道を　歩み来て
今日の栄を　うち立てし
先達の意気　たっとびて
われら気高く　仁(じん)に起(た)つ

三、はるけき道は　けわしくも
共にたずさえ　和を広げ
学びの道に　夢たくし
われら日整　仁(じん)に起(た)つ